

1 県内の患者の状況

(1) 検査陽性者の状況（令和3年5月27日 24時現在）

(単位：人)

陽性者数（累積）	入院			宿泊療養	入院・宿泊療養調整等		自宅療養	その他医療機関・福祉施設等	死亡	退院
	中等症以下	重症	入院調整							
				39,386	683	586	97	298	694	570
+162	△ 17	△ 17	0	+9	△ 88	△ 115	△ 38	△ 20	+12	+304

※下段は前日比

[検査内訳]

(単位:件) (単位:人)

区分	PCR検査	抗原検査	合計	陽性者数
地方衛生研究所等	115,862		115,862	11,554
	+160		+160	+28
民間検査機関等 (医療機関等)	249,304	87,699	337,003	27,832
	+1485	+599	+2084	+134
合計	365,166	87,699	452,865	39,386
	+1645	+599	+2244	+162

※医療機関等からの報告により集計

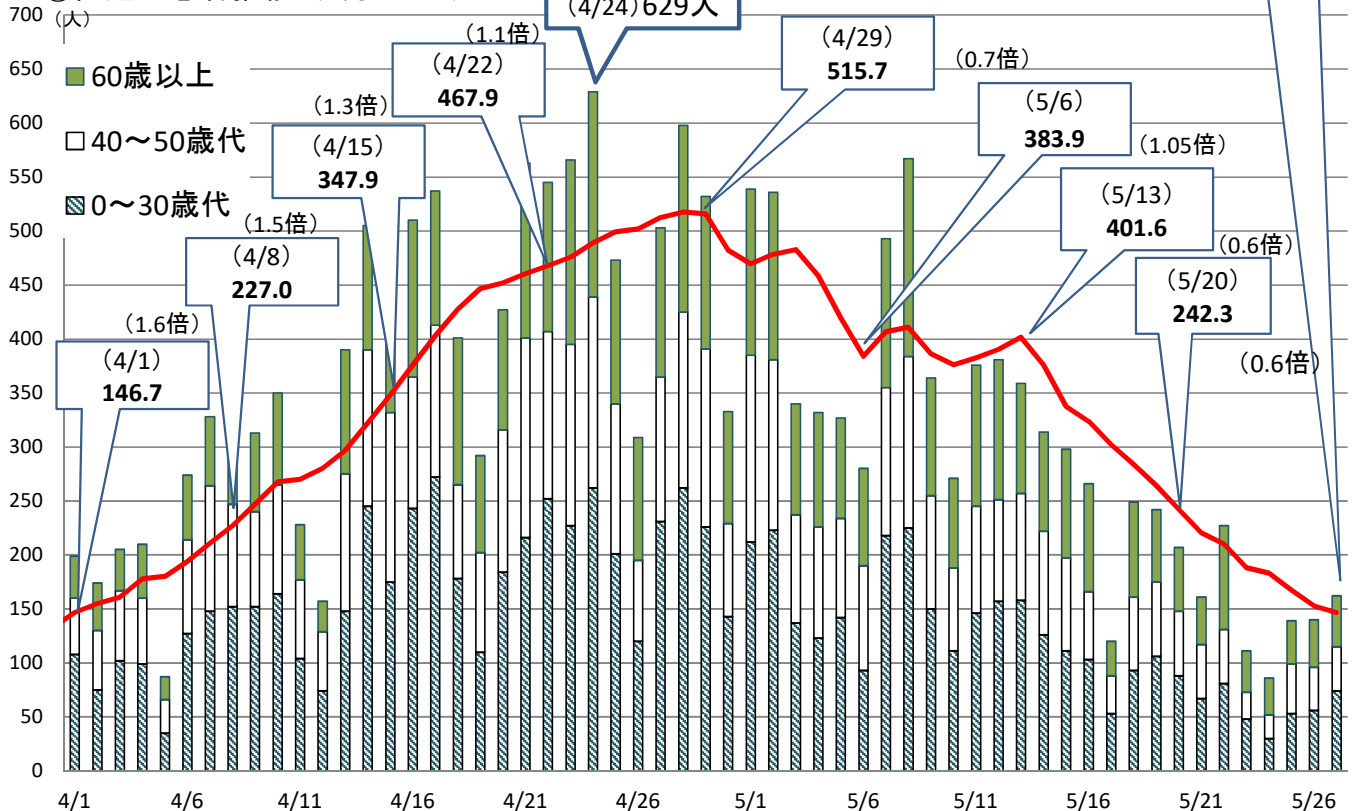
※下段は前日比

[入院内訳]

区分	確保病床等	患者数	差引	占有率
入院	1,151	683	468	59.3%
うち重症対応	136	97	39	71.3%
宿泊	1,475	298	1,177	20.2%
合計	2,626	981	1,645	37.3%

(2) 3月1日から5月27日に発生した患者の状況（21,418人）

①直近の患者推移（4月1日～）



(3) 患者の属性等

① 男女別患者数

区分	3/1~5/27		5/21~5/27	
	患者数	(%)	患者数	(%)
男性	10,707	50.0	533	51.9
女性	10,711	50.0	493	48.1
合計	21,418	100	1,026	100

② 年齢別患者数

区分	3/1~5/27		5/21~5/27	
	患者数	(%)	患者数	(%)
10代未満	819	3.8	29	2.8
10代	2,063	9.6	64	6.2
20代	3,691	17.2	190	18.5
30代	2,556	11.9	126	12.3
小計	9,129	42.6	409	39.9
40代	3,009	14.0	139	13.5
50代	3,134	14.6	135	13.2
小計	6,143	28.7	274	26.7
60代	2,024	9.4	107	10.4
70代	2,008	9.4	116	11.3
80代	1,494	7.0	87	8.5
90代以上	620	2.9	33	3.2
小計	6,146	28.7	343	33.4
合計	21,418	100	1,026	100

③ 管轄保健所別患者数

区分	3/1~5/27		5/21~5/27		10万対
	患者数	(%)	患者数	(%)	
県所管					
芦屋	468	2.2	16	1.6	16.9
宝塚	1,319	6.2	51	5.0	15.2
伊丹	1,290	6.0	48	4.7	12.5
加古川	1,046	4.9	50	4.9	12.0
加東	759	3.5	31	3.0	11.7
中播磨	54	0.3	2	0.2	4.8
龍野	365	1.7	50	4.9	31.6
赤穂	201	0.9	8	0.8	9.0
豊岡	47	0.2	1	0.1	0.9
朝来	65	0.3	8	0.8	15.6
丹波	147	0.7	2	0.2	1.9
洲本	210	1.0	3	0.3	2.3
小計	5,971	27.9	270	26.3	-
神戸市	8,719	40.7	451	44.0	29.6
姫路市	1,362	6.4	116	11.3	21.9
尼崎市	2,063	9.6	70	6.8	15.4
西宮市	2,064	9.6	72	7.0	14.7
明石市	1,239	5.8	47	4.6	15.6
小計	15,447	72.1	756	73.7	-
合計	21,418	100	1,026	100	18.7

④ 感染経路別患者数

(※ 飲食店は、接待やお酒を伴う店、カラオケ店等を含む。)

発生地	感染推定場所	3/1~5/27		5/21~5/27	
		患者数	(%)	患者数	(%)
県内	飲食店	145	1.3	1	0.2
	家庭	6,180	55.5	303	55.6
	職場・施設・学校等	1,369	12.3	91	16.7
	友人の集まり、談話等	693	6.2	19	3.5
	クラスター	2,506	22.5	124	22.8
	医療機関	(464)	(4.2)	(78)	(14.3)
	高齢者福祉施設等	(1,266)	(11.4)	(44)	(8.1)
	学校・園	(384)	(3.4)	(0)	(0.0)
	飲食店	(41)	(0.4)	(0)	(0.0)
	職場	(312)	(2.8)	(2)	(0.4)
	その他	(39)	(0.4)	(0)	(0.0)
	その他	174	1.6	6	1.1
	小計	11,067	99.4	544	99.8
県外	飲食店	8	0.1	0	0.0
	職場・施設・学校等	23	0.2	0	0.0
	友人の集まり、談話等	16	0.1	1	0.2
	その他	20	0.2	0	0.0
小計	67	0.6	1	0.2	
合計	11,134	100.0	545	100.0	
調査中		6,069		481	
不明		4,215			
総計		21,418		1,026	

緊急事態措置再延長に伴う対策（概要）

1 緊急事態措置の再延長期間

6 / 1 (火) ~ 6 / 20 (日) [20日間]

2 飲食店等への要請の継続

- ・酒類及びカラオケ設備の提供の禁止。提供する飲食店等への休業要請
- ・酒類及びカラオケ設備を提供しない飲食店等への20時までの営業時間短縮を要請
- ・飲食店等への酒類の持ち込み禁止の要請

3 施設の使用制限の継続

(1) 多数利用施設(※1)

[床面積 1,000 m²超]

- 20時までの営業時間短縮を要請
- 県独自に次の対策を実施
 - ・土日の休業を要請
(但し、運動施設、博物館・美術館を除く[イベント関連施設との均衡])
 - ・現行の協力要請(19時までの営業時間短縮)は行わない。
- 入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備の使用禁止を要請

[床面積 1,000 m²以下]

- 入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備の使用禁止の要請
- 20時までの営業時間短縮を協力依頼

(※1)生活必需物資(食品、医薬品、医療機器その他衛生用品、再生医療等製品、燃料、化粧品等)の小売関係を営む店舗を除く

(2) イベント関連施設(※2)

- ・イベントの開催制限を適用(「5,000人かつ収容定員50%以内」)
- ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備の使用禁止を要請

[床面積 1,000 m²超]

- ・イベント開催の場合は21時までの営業時間短縮を要請(イベント開催以外の場合は20時までの営業時間短縮を要請)

[床面積 1,000 m²以下]

- ・イベント開催の場合は21時までの営業時間短縮を要請(イベント開催以外の場合は20時までの営業時間短縮を協力依頼)

(※2)映画館等を劇場と同様イベント関連施設として整理

4 イベントの開催制限の継続

- ・人数上限5,000人、かつ、収容定員50%以内、収容定員が設定されていない場合は人と人との十分な距離(1m)を確保することを要請
- ・21時までの営業時間短縮を要請

緊急事態措置再延長に伴う対策（案）

令和3年5月28日

		現行の緊急事態措置（延長後）	緊急事態措置の再延長		
区域		全域	全域		
期間 (緊急事態措置)		令和3年5月12日(水)から 令和3年5月31日(月)まで(20日間)	令和3年6月1日(火)から 令和3年6月20日(日)まで(20日間)		
1 外出自粛等		〔特措法第45条第1項に基づく〕 ・日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛や混雑している場所・時間を避けて行動することを要請 ・特に大阪・東京など県境を越えた感染拡大地域への往来自粛を要請 ・時短要請時間外に飲食店等にみだりに出入りしないことを要請 ・感染対策が徹底されていない飲食店等や酒類又はカラオケ設備を提供している飲食店等の利用を厳に控えることを要請 ・酒類を購入し、店舗の店先・路上・公園等での飲酒など、感染リスクが高い行動の自粛を要請	〔特措法第45条第1項に基づく〕 ・日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛や混雑している場所・時間を避けて行動することを要請 ・特に緊急事態措置区域10都道府県など県境を越えた感染拡大地域への往来自粛を要請 以下 同左		
2 施設の使用制限	飲食店 遊興施設(*1)	【全県】 〔特措法第45条第2項に基づく〕 ○休業要請・時短要請 ・酒類又はカラオケ設備を提供する飲食店等(カラオケ店及び利用者による酒類の持込みを認めている飲食店を含む)への休業要請 ・酒類及びカラオケ設備を提供(利用者による酒類の店内持込みを含む)しない飲食店等への時短要請(5時～20時) ○感染対策の徹底	【全県】 同左		
	〔特措法施行令第11条・多数利用施設〕 ④劇場、観覧場、映画館、演芸場 ⑤集会場、公会堂 ⑥展示場 ⑦百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗(生活必需物資売場を除く) ⑧ホテル又は旅館(集会の用に供する部分) ⑨運動施設、遊技場 ⑩博物館、美術館 ⑪遊興施設(*2) ⑫サービス業(生活必需サービスを除く)を営む店舗	〔特措法第24条第9項等に基づく〕 ○多数利用施設への休業要請等(特措法施行令第11条施設)〈多数利用施設〉	〔特措法第24条第9項等に基づく〕 ○多数利用施設への休業要請等(特措法施行令第11条施設)〈多数利用施設〉		
		種類・施設例	要請内容	種類・施設例	要請内容
		映画館等 商業施設* 運動・遊技施設〔体育館、ホウリング場、スポーツクラブ、パチンコ屋等〕 遊興施設〔個室ビデオ店、場外馬券売場等〕 博物館等 サービス業(生活必需サービスを除く)	【床面積が1,000㎡超】 ・20時までの営業時間短縮を要請 ・県独自対策 ○土日の休業を要請(運動施設(イベント関連の屋内施設)、博物館等を除く) ○19時までの営業時間短縮を協力要請 【床面積が1,000㎡以下】 ・20時までの営業時間短縮の協力依頼 【共通】 ・イベント開催制限の要件を準用した施設の運用を要請(映画館等、運動施設(イベント関連の屋内施設)、博物館等) ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請	商業施設* 運動・遊技施設〔体育館、ホウリング場、スポーツクラブ、パチンコ屋等〕 遊興施設〔個室ビデオ店、場外馬券売場等〕 博物館等 サービス業(生活必需サービスを除く)	【床面積が1,000㎡超】 ・20時までの営業時間短縮を要請 ・県独自対策 ○土日の休業を要請(運動施設(イベント関連の屋内施設)、博物館等を除く) 【床面積が1,000㎡以下】 ・20時までの営業時間短縮の協力依頼 【共通】 ・イベント開催制限の要件を準用した施設の運用を要請(運動施設(イベント関連の屋内施設)、博物館等) ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請
※生活必需物資(食品、医薬品、医療機器その他衛生用品、再生医療等製品、燃料等)の小売り関係を営む店舗を除く	〈イベント関連施設〉	種類・施設例	要請内容	種類・施設例	要請内容
劇場等〔劇場、観覧場、演芸場等〕	【床面積が1,000㎡超】 ・イベント開催の場合は21時までの営業時間短縮を要請(イベント開催以外の場合は20時までの営業時間短縮を要請) 【床面積が1,000㎡以下】 ・イベント開催の場合は21時までの営業時間短縮を要請(イベント開催以外の場合は20時までの営業時間短縮を協力依頼) 【共通】 ・イベント開催制限の要件を準用した施設の運用を要請 ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請	劇場、映画館等〔劇場、観覧場、演芸場、映画館、パチンコ等〕 集会・展示施設〔集会場、公会堂、展示場、貸会議室等〕 ホテル・旅館(集会の用に供する部分) 運動施設(屋外施設等)〔野球場、ゴルフ場等〕 遊技施設〔ゲームセンター、遊園地等〕	※県立社会教育施設は、上記に準じる。	同左	同左
県立公園等	・施設毎の使用制限を遵守の上開園。持込み飲酒や食事の禁止	同左	同左		
大学	・オンライン授業の積極的活用 ・部活動・サークル活動を実施しない(中央競技団体等の主催大会を除く)。合宿等、宿泊を伴う活動は実施しない ・学生向け動画等で感染防止対策の徹底を強く呼びかけ	同左	同左		
小・中・高等学校等	【県立学校】 〔教育活動〕 ・県外活動中止 ・感染リスクが高いとされる活動は、対策を徹底の上実施 〔部活動〕 ・校内のみ活動を実施(平日のうち4日)。宿泊を伴う活動は実施しない(活動時間は2時間以内。土日は原則休止) ・但し、高体連・中体連スケジュール記載大会等への参加は可(大会等参加に伴う練習は、大会初日の3週間前から)	同左	同左		
3 イベントの開催制限	〔特措法第24条第9項に基づく〕 ・人数上限5,000人かつ収容定員50%以内、収容定員が設定されていない場合は人との十分な距離(1m)の確保を要請 ・21時までの営業時間短縮を要請	同左	同左		
4 出勤抑制	〔特措法第24条第9項に基づく〕 ・「出勤者数の7割削減」を目指し、在宅勤務(テレワーク)、テレビ会議などの推進を要請 ・事業者に対し、出勤者数7割削減の実施状況の公表を要請	同左	同左		

*1 食品衛生法の飲食店営業の許可・喫茶店営業の許可を受けている施設(左記の許可を受けていないカラオケ店を含む)
*2 食品衛生法の飲食店営業の許可・喫茶店営業の許可を受けていない施設(左記の許可を受けていないカラオケ店を除く)

兵庫県内の飲食事業者等の皆様

兵庫県新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長（兵庫県知事） 井戸 敏三**新型コロナウイルス感染症緊急事態措置に係る
飲食店等に対する使用制限等の要請について**

兵庫県では、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、緊急事態措置として施設の使用制限等を要請し、事業者の皆様のご協力により県内の新規感染者数は減少傾向にあります。依然として多くの新規感染者が発生していることから、下記の通り使用制限等の要請期間を再延長します。

事業者の皆様には厳しい状況が続きますが、県民のいのちや健康を守るため、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 再延長期間 令和3年6月1日(火)から令和3年6月20日(日)まで
- 2 対象地域 兵庫県全域
- 3 対象施設

種類	施設
飲食店等 (宅配・テイクアウトは除く)	飲食店（居酒屋を含む）、喫茶店 等 ※飲食店・喫茶店その他設備を設けて客に飲食をさせる営業が行われている施設
遊興施設 (食品衛生法に基づく飲食店営業の許可・喫茶店営業の許可を受けている施設)	キャバレー、ナイトクラブ、ダンスホール、バー 等 ※ネットカフェ・マンガ喫茶等、夜間の長時間滞在を目的とした利用が相当程度見込まれる施設は対象外。ただし、入場整理の実施や、酒類提供・カラオケ設備使用の不可について協力依頼
カラオケ店 (食品衛生法に基づく飲食店営業の許可・喫茶店営業の許可を受けていない施設を含む)	カラオケ店、カラオケボックス、カラオケ喫茶 等

- 4 要請内容 (※)特措法第45条第2項に基づく（感染対策の徹底については以下の①～⑩）
 - ・酒類又はカラオケ設備の提供の禁止
 - ・酒類及びカラオケ設備を提供（利用者による酒類の店内持込みを含む）しない場合の営業時間短縮（5時～20時）
 - ・感染対策の徹底

※ 詳細については、別添資料をご確認ください。

感染対策の徹底

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| ① 従業員への検査勧奨 | ③ 発熱等の症状のある者の入場の禁止 |
| ② 入場者の感染防止のための整理・誘導 | ⑤ 事業を行う場所の消毒 |
| ④ 手指の消毒設備の設置 | ⑦ 正当な理由なくマスクの着用等の感染防止措置を講じない者の入場の禁止 |
| ⑥ 入場者に対するマスクの着用その他の感染の防止に関する措置の周知 | ⑨ アクリル板等の設置又は利用者の適切な距離の確保 |
| ⑧ 施設の換気 | ⑪ 業種別ガイドラインの遵守 |
| ⑩ CO2センサー等の設置 | |

お問い合わせ先

◆兵庫県緊急事態措置コールセンター

TEL：078-362-9921

受付時間：平日 9時～17時（ただし、5/29(土)・30(日)は開設）

◆兵庫県休業・時短協力金コールセンター（協力金に関すること）

TEL：078-361-2501

受付時間：平日 9時～17時

◆県ホームページ

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/kinkyujitai_taisho.html

令和3年5月28日

兵庫県内の事業者の皆様
(飲食事業者を除く)

兵庫県新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長(兵庫県知事) 井戸 敏三

新型コロナウイルス感染症緊急事態措置に係る 施設の使用制限等の要請について

兵庫県では、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、緊急事態措置として施設の使用制限等を要請し、事業者の皆様のご協力により県内の新規感染者数は減少傾向にあります。依然として多くの新規感染者が発生していることから、下記の通り使用制限等の要請期間を再延長します。

事業者の皆様には厳しい状況が続きますが、県民のいのちや健康を守るため、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 再延長期間 令和3年6月1日(火)から令和3年6月20日(日)まで
- 2 対象地域 兵庫県全域
- 3 要請内容(再延長期間に係るもの)
 - (1) 多数利用施設(商業施設^(*)、遊技施設、遊興施設、サービス業、運動施設(屋内施設)、博物館等)
[床面積が1,000㎡超]
 - ・土日の休業を要請(運動施設(屋内施設)、博物館等を除く)
 - ・平日20時までの営業時間短縮を要請(運動施設(屋内施設)、博物館等は土日も要請)
 - ・イベント開催制限^(*)の要件を準用した施設の運用を要請(運動施設(屋内施設)、博物館等)
 - ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請
 - [床面積が1,000㎡以下]
 - ・20時までの営業時間短縮を協力依頼
 - ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請
 - (2) イベント関連施設(劇場・映画館等、集会・展示施設、ホテル・旅館の集会の用に供する部分、運動施設(屋外施設等)、テーマパーク・遊園地等)
 - ・イベント開催制限^(*)の要件を準用した施設の運用を要請
 - ・イベント開催の場合は21時までの営業時間短縮を要請
(イベント開催以外の場合は20時までの営業時間短縮を要請等)
 - ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請
 - (3) 業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策の徹底を要請(全ての施設)

(*)生活必需物資(食品、医薬品、医療機器その他衛生用品、再生医療等製品、燃料、化粧品等)の小売関係を営む店舗を除く

(*)イベント開催制限

- 人数上限5,000人、かつ、収容定員50%以内、収容定員が設定されていない場合は人と人の十分な距離(1m)を確保すること
- 21時までの営業時間の短縮

※要請内容の詳細は、添付資料をご確認ください。

お問い合わせ先

◆兵庫県緊急事態措置コールセンター

T E L : 078-362-9921 受付時間: 平日 9時~17時
(ただし、5/29(土)・30日(日)は開設)

◆兵庫県休業・時短協力金コールセンター(協力金に関すること)

T E L : 078-361-2501 受付時間: 平日 9時~17時

◆県ホームページ(施設の詳細は、こちらをご覧ください。)

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/kinkyujitai_soti.html

緊急事態措置・使用制限対象施設一覧

R3.5.28時点
(適用期間：R3.6.1～6.20、
随時更新予定)

1 飲食店等への要請等〔特措法第45条第2項等に基づく〕

カテゴリー	施設例	要請内容	備考
飲食店等 (宅配・テイクアウト サービスを除く)	飲食店	(法第45条第2項に基づく要請) (酒類又はカラオケ設備を提供する場合(利用者による 酒類の店内持込みを認めている飲食店を含む)) ・施設の休業	
	料理店		
	喫茶店		
	居酒屋		
	バー (接待や遊興を伴わないもの) 等		
遊興施設 (食品衛生法に基づく飲食店営 業の許可・喫茶店営業の許可を 受けている施設) ※	キャバレー	(酒類及びカラオケ設備の提供をしない場合(酒類及び カラオケ設備の提供を取り止める場合を含む)) ・営業時短要請 (5時～20時) (共通内容) ・正当な理由なくマスクの着用等の感染防止措置を 講じない者の入場の禁止 ・アクリル板等の設置又は利用者の適切な距離の確保 ・上記のほか、特措法施行令第12条第1項各号に 規定される措置 (従業員への検査勧奨、 入場者の整理誘導、発熱など有症状者の入場禁止、 手指消毒設備の設置、施設の消毒、 入場者に対するマスクの着用その他の感染の防止 に関する措置の周知、施設の換気) (法第24条第9項に基づく要請) ・CO2センサー等の設置 ・業種別ガイドライン遵守の徹底	※ネットカフェ・マンガ喫茶等、 夜間の長時間滞在を目的とした 利用が相当程度見込まれる施設 は対象外。 ただし、感染防止策の徹底を 要請。入場整理の実施、酒類 提供(酒類の店内持込含む。)・ カラオケ設備使用の不可に ついて協力依頼
	ナイトクラブ		
	ダンスホール		
	スナック		
	バー (接待や遊興を伴うもの)		
	ダーツバー		
	パブ		
	サロン		
	ホストクラブ		
	ディスコ		
	ライブハウス		
	場外馬 (車・舟) 券場 等		
カラオケ店 (食品衛生法に基づく飲食店営 業の許可・喫茶店営業の許可を 受けている施設を含む)	カラオケ店・カラオケボックス		
	カラオケ喫茶 等		
結婚式場 ※	結婚式場	(法第45条第2項に基づく要請) (酒類又はカラオケ設備を提供する場合(利用者による 酒類の施設内持込みを認めている場合を含む)) ・施設の休業 (酒類及びカラオケ設備の提供をしない場合(酒類及び カラオケ設備の提供を取り止める場合を含む)) ・営業時短要請 (5時～20時) (共通内容) ・正当な理由なくマスクの着用等の感染防止措置を 講じない者の入場の禁止 ・アクリル板等の設置又は利用者の適切な距離の確保 ・上記のほか、特措法施行令第12条第1項各号に 規定される措置 (従業員への検査勧奨、 入場者の整理誘導、発熱など有症状者の入場禁止、 手指消毒設備の設置、施設の消毒、 入場者に対するマスクの着用その他の感染の防止 に関する措置の周知、施設の換気) (法第24条第9項に基づく要請) ・CO2センサー等の設置 ・業種別ガイドライン遵守の徹底 (協力依頼) ・1.5時間以内の開催 ・参加人数50人以下又は収容定員50%以内のいずれか 小さい方	※ホテル・旅館等での結婚式を 含む

緊急事態措置・使用制限対象施設一覧

2 多数利用施設への要請等〔特措法第24条第9項に基づく〕

カテゴリー	施設例	要請内容	備考	
商業施設 (生活必需物資の小売り関係を含む店舗を除く)	卸売市場 (※1)		※1 生活必需物資売場以外 (生活必需物資) ・食品 ・医薬品 ・医療機器その他衛生用品 ・再生医療等製品 ・燃料 ・化粧品 等	
	コンビニエンスストア (※1)			
	大規模小売店 (※1)			
	百貨店 (※1)			
	スーパーマーケット (※1)			
	ホームセンター (※1)			
	ショッピングセンター (地下街含む) (※1)			
	靴屋	(床面積の合計が1000㎡超の施設)	・土日の休業 ・平日20時までの営業時間短縮 ・業種別ガイドライン遵守の徹底	
	衣料品店	・入場整理		
	寝具小売業	・施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ 設備使用の不可		
	かばん・袋物小売業			
	雑貨屋			
	文房具屋	(床面積の合計が1000㎡以下の施設)	・業種別ガイドライン遵守の徹底	
	本屋	・入場整理		
	自転車屋	・施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ 設備使用の不可		
	家電販売店	[協力依頼]		
	園芸用品店	・20時までの営業時間短縮		
	鍵屋			
	家具屋			
	建具小売業			
	畳小売業			
	宗教用具小売業			
	金物・荒物小売業			
	陶磁器・ガラス器小売業			
	楽器小売業			
	写真機・写真材料小売業			
	時計・眼鏡・光学機械小売業			
	たばこ・喫煙具専門小売業			
	建築材料小売業			
	自動車(二輪自動車含む)販売店、カー用品店 (※2)			※2 修理等に関する部分を除く
花屋				

カテゴリー	施設例	要請内容	備考
商業施設 (生活必需物資の小売り関係を含む店舗を除く)	宝石類や金銀の販売店	(床面積の合計が1000㎡超の施設) ・ 土日の休業 ・ 平日20時までの営業時間短縮 ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (床面積の合計が1000㎡以下の施設) ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (協力依頼) ・ 20時までの営業時間短縮	
	古物商 (質屋を除く)		
	金券ショップ		
	古本屋		
	おもちゃ屋、鉄道模型屋		
	囲碁・将棋盤店		
	DVD/ビデオショップ・レンタル		
	アウトドア用品、スポーツグッズ店		
	ゴルフショップ		
	土産物店		
	アイドルグッズ専門店		
	美術品販売		
携帯電話ショップ 等			
遊技施設	マーじゃん店	(床面積の合計が1000㎡超の施設) ・ 土日の休業 ・ 平日20時までの営業時間短縮 ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (床面積の合計が1000㎡以下の施設) ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (協力依頼) ・ 20時までの営業時間短縮	
	パチンコ屋		
	ゲームセンター		
	ビリヤード場		
	囲碁・将棋所 等		
遊興施設	性風俗店(ファッションヘルス、デリヘル、個室付き浴場業、SMクラブ、出会い系喫茶、テレフォンクラブ等)	(床面積の合計が1000㎡超の施設) ・ 土日の休業 ・ 平日20時までの営業時間短縮 ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (床面積の合計が1000㎡以下の施設) ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (協力依頼) ・ 20時までの営業時間短縮	※ネットカフェ・マンガ喫茶等、夜間の長時間滞在を目的とした利用が相当程度見込まれる施設は、対象外。ただし、感染防止策の徹底を要請。入場整理の実施、酒類提供(酒類の店内持込含む。)・カラオケ設備使用の不可について協力依頼
	アダルトショップ		
	個室ビデオ店		
	射的場		
	ライブハウス		
	勝ち馬投票券発売所		
	場外馬(車・舟)券場 等		

カテゴリー	施設例	要請内容	備考
サービス業 (生活必需サービスを営む店舗を除く)	ペットショップ (ペットフード売場を除く)	(床面積の合計が1000㎡超の施設) ・ 土日の休業 ・ 平日20時までの営業時間短縮 ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (床面積の合計が1000㎡以下の施設) ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (協力依頼) ・ 20時までの営業時間短縮	
	ペット美容室 (トリミング)		
	住宅展示場		
	旅行代理店 (店舗)		
	ネイルサロン(保健所に届け出ている理美容所は除く)		
	まつ毛エクステンション専門店(ヘアカット等を行わない理美容所)		
	スーパー 銭湯		
	サウナ		
	エステサロン(保健所に届け出ている理美容所は除く)		
	リラクゼーション		
	整体院(国家資格有資格者が行うものは除く)		
	日焼けサロン		
	脱毛サロン		
	タトゥースタジオ		
	占い		
写真屋・フォトスタジオ			
展望室 等			
運動施設 (屋内施設)	体育館	・ 人数上限5,000人、かつ、収容定員50%以内、収容定員が設定されていない場合は人と人の十分な距離(1m)を確保すること (床面積の合計が1000㎡超の施設) ・ 20時までの営業時間短縮 ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (床面積の合計が1000㎡以下の施設) ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等 (酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (協力依頼) ・ 20時までの営業時間短縮	
	スケート場		
	水泳場		
	屋内テニスコート		
	柔剣道場		
	ボウリング場		
	スポーツクラブ・スポーツジム		
	ホットヨガ、ヨガスタジオ 等		

カテゴリー	施設例	要請内容	備考
博物館等 ※	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人数上限5,000人、かつ、収容定員50%以内、収容定員が設定されていない場合は人と人の十分な距離(1m)を確保すること (床面積の合計が1000㎡超の施設) ・ 20時までの営業時間短縮 ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等(酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (床面積の合計が1000㎡以下の施設) ・ 業種別ガイドライン遵守の徹底 ・ 入場整理 ・ 施設内での飲酒につながる酒類提供等(酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 (協力依頼) ・ 20時までの営業時間短縮 	※図書館を除く * オンライン配信の場合は時間短縮不要
	美術館		
	科学館		
	記念館		
	水族館		
	動物園		
	植物園 等		

緊急事態措置・使用制限対象施設一覧

3 イベント関連施設等への要請等〔特措法第24条第9項に基づく〕

カテゴリー	施設例	要請内容	備考
劇場等	劇場	<ul style="list-style-type: none"> ・人数上限5,000人、かつ、収容定員50%以内、収容定員が設定されていない場合は人と人の十分な距離(1m)を確保すること <p>(床面積の合計が1000㎡超の施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21時までの営業時間短縮 * イベント開催以外の場合は20時までの営業時間短縮を要請 * 映画館については、21時までの営業時間短縮を要請 	
	観覧場		
	演芸場		
	映画館		
	プラネタリウム 等		
集会・展示施設	集会場	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別ガイドライン遵守の徹底 ・入場整理 ・施設内での飲酒につながる酒類提供等(酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 <p>(床面積の合計が1000㎡以下の施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21時までの営業時間短縮〔協力依頼〕 * イベント開催以外の場合は20時までの営業時間短縮を協力依頼 * 映画館については、21時までの営業時間短縮を協力依頼 	* オンライン配信の場合は時間短縮不要
	公会堂		
	展示場		
	貸会議室		
	文化会館		
	多目的ホール 等		
ホテル又は旅館	ホテル(集会の用に供する部分に限る)	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別ガイドライン遵守の徹底 ・入場整理 ・施設内での飲酒につながる酒類提供等(酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可 	
	旅館(集会の用に供する部分に限る)		
運動施設 (屋外施設等)	野球場	<ul style="list-style-type: none"> ・人数上限5,000人、かつ、収容定員50%以内、収容定員が設定されていない場合は人と人の十分な距離(1m)を確保すること <p>(床面積の合計が1000㎡超の施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20時までの営業時間短縮 * イベント開催の場合は21時までの営業時間短縮 	* オンライン配信の場合は時間短縮不要
	ゴルフ場・ゴルフ練習場		
	バッティング練習場		
	陸上競技場		
	スケート場		
	水泳場		
	屋外テニス場		
	弓道場 等		
遊技施設	テーマパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内での飲酒につながる酒類提供等(酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備使用の不可〔協力依頼〕 * 20時までの営業時間短縮 	
	遊園地 等		

緊急事態措置・使用制限対象施設一覧

4 休業要請等を行わない施設

カテゴリー	施設例	要請内容	備考
社会福祉施設等	保育所等（幼保連携型認定こども園を含む）	・感染防止策の徹底	
	放課後児童クラブ（学童保育）		
	障害児通所支援事業所		
	老人福祉法・介護保険法関係の施設		
	婦人保護施設		
	その他の社会福祉施設		
学校、大学、学習塾等	幼稚園	・感染防止策の徹底 ・感染リスクの高い活動の自粛 ・オンラインの活用	
	小学校		
	中学校		
	義務教育学校		
	高等学校		
	専修学校(高等課程)		
	高等専門学校		
	中等教育学校		
	特別支援学校		
	大学		
	専修学校(専門課程・一般課程)・各種学校		
	日本語学校・外国語学校		
	インターナショナルスクール		
	自動車教習所		
	学習塾		
	英会話教室		
	音楽教室		
	囲碁・将棋教室		
生け花・茶道・書道・絵画教室			
そろばん教室			
パソコン等IT関連教室			
料理教室			
葬祭場	葬祭場	・感染防止策の徹底 ・酒類提供(酒類の施設内持込含む。)の自粛	
	図書館	・感染防止策の徹底 ・適切な入場整理	
商業施設 (生活必需物資販売施設)	卸売市場（※1）	・感染防止策の徹底	※1 生活必需品売場に限る (生活必需物資) ・食品 ・医薬品 ・医療機器その他衛生用品 ・再生医療等製品 ・燃料 ・化粧品 等 ※2 移動販売店舗を含む
	食料品店・食料品売場（※2）		
	コンビニエンスストア（※1）		
	大規模小売店（※1）		
	百貨店（※1）		
	スーパーマーケット（※1）		
	ホームセンター（※1）		
	ショッピングセンター（※1）		
	薬局・薬店・ドラッグストア（※1）		
	ガソリンスタンド（※1）		
	新聞小売店		
	ベビー用品店		
	農機具店（肥料等含む）		
	化粧品小売業		

カテゴリー	施設例	要請内容	備考
サービス業 (生活必需サービスを提供する店舗等)	理髪店	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止策の徹底 ・適切な入場整理 ・酒類提供(酒類の施設内持込含む。)及びカラオケ設備の使用自粛 	
	美容院		
	銭湯(公衆浴場)		
	郵便局		
	メディア		
	貸衣裳屋		
	不動産屋		
	火葬場		
	質屋		
	獣医		
	修理店(時計、靴、洋服、自動車(二輪自動車含む)、自転車等)		
	ランドリー		
	クリーニング店(取次店含む)		
	ごみ処理関係		
	配管工事・電気工事・ビルメンテナンス		
	セキュリティ・警備		
	神社		
寺院			
教会			
医療施設 (※1)	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止策の徹底 	※1 国家資格有資格者が治療を行うもの以外の施設は除く ※2 生活必需品売場に限る(生活必需物資) ・食品 ・医薬品 ・医療機器その他衛生用品 ・再生医療等製品 ・燃料 ・化粧品 等
	診療所		
	歯科		
	薬局・薬店・ドラッグストア(※2)		
	鍼灸・マッサージ		
	接骨院		
	柔道整復		
住宅・宿泊施設	ホテル(集会の用に供する部分を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止策の徹底 	
	カプセルホテル		
	旅館(集会の用に供する部分を除く)		
	民泊		
	共同住宅		
	寄宿舍		
	下宿		
交通機関等	バス	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止策の徹底 	※ <鉄道、バス等> 終電時刻の繰上げ等の協力依頼を実施
	タクシー		
	レンタカー		
	鉄道		
	モノレール		
	船舶		
	航空機		
	物流サービス(宅配等含む)		
工場等	工場	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止策の徹底 	
	作業場		
金融機関・官公署等	銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止策の徹底 	
	消費者金融		
	証券取引所		
	証券会社		
	保険代理店		
	官公署		
	各種事務所		

緊急事態措置の再延長に係る飲食店等に対する協力金

1 対象者

県からの休業又は時短営業の要請に協力いただいた店舗を運営する事業者

2 支給額等

項目	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金
要請期間	令和3年4月25日（日）～ 6月20日（日）
対象区域	県内全域
対象施設	飲食店等（バー、スナック含む）、カラオケ店、結婚式場 * 飲食店営業許可又は喫茶店営業許可を受けている店舗等に限る
対象要件	① 酒類及びカラオケの提供（酒類の持ち込みを含む）をやめること ② 休業、又は通常、午後8時以降も営業している店舗が営業時間を午前5時から午後8時まで短縮すること
支給金額 (調整中)	1日当たり4～20万円/店舗×休業・時短営業日数 <中小企業> 前年度又は前々年度の1日当たり売上高に応じて単価決定 ・ 10万円以下の店舗：4万円 ・ 10～25万円の店舗：(前年度等の1日当たり売上高)×0.4の額 ・ 25万円以上の店舗：10万円 <大企業> 1日当たり売上高の減少額×0.4(上限20万円) (中小企業もこの方式を選択可)
申請期間	① 4月1日～4月24日分（第3期）：5月25日～6月30日 ② 4月25日～5月31日分（第4期）：6月1日～6月30日 （※第3期と第4期分は一括申請可能） ③ 6月1日～6月20日分（第5期）：緊急事態措置終了後受付開始

[参考：4月以降の時短協力金の支給地域・対象時期等]

	区域	4/1～	4/5～	4/22～	4/25～	6/1～
支給額等	神戸・阪神南地域		[まん延防止等重点措置] @4～20万円×時短営業日数			
	阪神北地域・明石市				[緊急事態措置] @4～20万円 ×休業・時短営業日数	[緊急事態措置] @4～20万円 ×休業・時短営業日数
	東播磨(明石市除く)・中播磨地域	[県による時短要請] @4万円×時短営業日数		@2.5～20万円 ×時短営業日数		
	北播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路地域					
	申請期間	5/25～6/30 (受付中) 【第3期】			6/1～6/30 【第4期】	緊急事態措置 終了後受付開始 【第5期】

緊急事態措置の再延長に係る大規模施設等に対する協力金

1 対象施設及び支給対象

(1) 多数利用施設

種類	施設の例	支給対象
商業施設 遊技施設 遊興施設(飲食店除く) サービス業 運動施設(屋内施設)	大規模小売店等(生活必需品除く) ゲームセンター等 個室ビデオ店等 生活必需品以外の店舗 体育館、ボウリング場、スポーツクラブ等	当該大規模施設 及び テナント事業・出店者

(2) イベント関連施設

種類	施設の例	支給対象
劇場等 集会・展示施設 ホテル・旅館 運動施設(屋外施設等) 遊技施設	劇場、観覧場、映画館、プラネタリウム等 公会堂、貸会議室等 ホテル、旅館の集会の用に供する部分 野球場、ゴルフ場等 テーマパーク、遊園地等	テナント事業者・出店者

2 協力金の概要

区分	大規模施設	テナント事業者・出店者
要請期間	令和3年4月25日(日)～6月20日(日)	
対象区域	県内全域	
要請内容	(1) 令和3年4月25日(日)～5月11日(火) ①大規模施設(1,000㎡超)：休業要請 ②イベント関連施設：無観客開催の要請 (2) 令和3年5月12日(水)～5月31日(月) ①大規模施設(1,000㎡超) 【土・日】休業要請(運動施設、博物館・美術館は時短要請のみ) 【平日】時短要請(営業時間19時まで) ②イベント関連施設：21時までの時短要請等 (3) 令和3年6月1日(火)～6月20日(日) ①大規模施設(1,000㎡超) 【土・日】休業要請(運動施設、博物館・美術館は時短要請のみ) 【平日】時短要請(営業時間20時まで) ②イベント関連施設：21時までの時短要請等	
対象施設	上記の要請に応じた飲食店以外の1,000㎡超の施設(生活必需物資店除く)	上記の要請に応じた1,000㎡超の施設の一部を賃借することにより、当該施設に来場した一般消費者を対象に事業を営む事業所等

区分	大規模施設	テナント事業者・出店者
支給金額 (調整中)	【休業分】 <u>支給額/日=A+B+C</u> <u>A：自己利用部分(*1)の休業面積</u> <u>(1,000㎡を1単位)(*2)×20万円/日</u> <u>B:テナント店舗及び特定百貨店店舗</u> <u>等(*3)の数×2千円/日</u> <u>(10以上の店舗がある場合)</u> <u>C：特定百貨店店舗の数×2万円/日</u>	【休業分】 <u>支給額/日=休業面積(100㎡を1</u> <u>単位)(*2)×2万円/日</u>
	【時短分】 <u>国の基準に基づく協力金(上記に基づき算出した額に「本来の営業終了</u> <u>時間-20時/本来の営業時間」を乗じた額)を支給</u>	
申請期間	緊急事態措置終了後受付開始	

【注】

(*1)「自己利用部分」

大規模施設運営事業者自らが一般消費者向け事業の用に直接供している部分(*3)の「特定百貨店店舗」に係る部分を除く)

(*2)「休業面積」

①大規模施設

要請に応じて休業又は時短営業を行っている部分の面積で、テナント事業者等、生活必需品の販売事業の区画面積を除く

・単位未満は切り捨てとし、1,000㎡以下の場合は1,000㎡とする

②テナント事業者、出店者

大規模施設内の事業者等の専用の店舗等に係る休業面積

・単位未満は切り捨てとし、100㎡以下の場合は100㎡とする

(*3)「特定百貨店店舗」

百貨店等において当該店舗の売上が当該百貨店等に一旦、計上され、その後分配される場合で、百貨店等から一定の区画の分配を受け、当該店舗の運営者の名義で出店し、事業を営んでいる店舗

■ 兵庫県立都市公園における施設の使用制限（県土整備部関係）

公園名	施設名	使用状況及び制限等	
		5月12日～5月31日	6月1日～6月20日
舞子公園	舞子海上プロムナード	通常営業（18時閉）	通常営業（18時閉）
	孫文記念館（移情閣）	通常営業（17時閉）	通常営業（17時閉）
	旧木下家住宅	通常営業（17時閉）	通常営業（17時閉）
	旧武藤山治邸	通常営業（17時閉）	通常営業（17時閉）
明石公園	第1野球場	通常利用可（18時閉、但し5千人以内）	通常利用可（19時閉、但し5千人以内）
	第2野球場	通常利用可（18時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（19時閉、但し収容率50%以内）
	テニスコート	通常利用可（18時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（19時閉、但し収容率50%以内）
	陸上競技場	通常利用可（18時閉、但し5千人以内）	通常利用可（19時閉、但し5千人以内）
	自転車競技場	通常利用可（18時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（19時閉、但し収容率50%以内）
	ローンボウルスコート	通常利用可（18時閉）	通常利用可（19時閉）
	会議室	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）
甲山森林公園	会議室	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）
	工作室等	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）
播磨中央公園	野外ステージ	通常利用可（17時閉、但し5千人以内）	通常利用可（17時閉、但し5千人以内）
	野球場	通常利用可（17時閉）	通常利用可（17時閉）
	球技場	通常利用可（17時閉）	通常利用可（17時閉）
	アーチェリー場	通常利用可（17時閉）	通常利用可（17時閉）
	サイクルステーション	通常利用可（17時閉）	通常利用可（17時閉）
西猪名公園	球技場	通常利用可（21時閉）	通常利用可（21時閉）
	テニスコート	通常利用可（21時閉）	通常利用可（21時閉）
淡路島公園	エンゲノマリ	営業（21時までの時短、但し5千人以内）	営業（21時までの時短、但し5千人以内）
赤穂海浜公園	テニスコート	通常利用可（18時閉）	通常利用可（19時閉）
	塩の国	通常どおり開放（17時閉）	通常どおり開放（17時閉）
	オートキャンプ場	営業（全面飲酒禁止＋食事20時まで）	営業（全面飲酒禁止＋食事20時まで）
一庫公園	会議室	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）
有馬富士公園	会議室	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）
	多目的ホール	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）
淡路佐野運動公園	屋内練習場	通常利用可（19時までの時短）	通常利用可（20時までの時短）
	トレーニング室	営業（19時までの時短）	営業（20時までの時短）
	第1野球場	通常利用可（21時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（21時閉、但し収容率50%以内）
	第2野球場	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）
	サッカー場	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）
	多目的グラウンド	通常利用可（17時閉）	通常利用可（17時閉）
	会議室	通常利用可（19時までの時短、但し収容率50%以内）	通常利用可（20時までの時短、但し収容率50%以内）
三木総合防災公園	屋内テニスコート（ビーンズコート）	通常利用可（19時までの時短、但し収容率50%以内）	通常利用可（20時までの時短、但し収容率50%以内）
	野球場	通常利用可（21時閉）	通常利用可（21時閉）
	第1・2球技場	通常利用可（17時閉）	通常利用可（17時閉）
	第3球技場	通常利用可（21時閉）	通常利用可（21時閉）
	屋外テニスコート	通常利用可（18時閉）	通常利用可（19時閉）
	陸上競技場	通常利用可（21時閉、但し5千人以内）	通常利用可（21時閉、但し5千人以内）
	第2陸上競技場	通常利用可（17時閉）	通常利用可（17時閉）
	グラウンドゴルフ場	通常利用可（17時閉）	通常利用可（17時閉）
尼崎の森中央緑地	屋内プール	通常利用可（19時までの時短、但し収容率50%以内）	通常利用可（20時までの時短、但し収容率50%以内）
	フィットネス	営業（19時までの時短）	営業（20時までの時短）
	フットサルコート	通常利用可（21時までの時短）	通常利用可（21時までの時短）
	グラウンドゴルフ場	通常利用可（17時閉）	通常利用可（17時閉）
	会議室	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）
丹波並木道中央公園	会議室	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）	通常利用可（17時閉、但し収容率50%以内）

緊急事態宣言延長に伴う県立公園等の対応（農政環境部関係）

1 対応の内容

○下記の県立公園等については、感染防止対策を実施した上で開園するが、引き続き公園内への持ち込み飲酒や食事は禁止する。

県立公園あわじ花さじき、県立フラワーセンター、県立但馬牧場公園、県立三木山森林公園、各県立ふるさとの森公園、兵庫楽農生活センター、県立六甲山ビジターセンター

○併設のレストランについては、運営事業者に感染防止対策の徹底を要請し、酒類提供は禁止する。

2 開園状況

区分	施設名	緊急事態措置		
		5月12日～31日	6月1日～20日	閉園時間
社会教育施設	県立公園あわじ花さじき	開園（屋内施設も開放）	同左	17時
	県立フラワーセンター	同上	同左	同上
	兵庫楽農生活センター	同上	同左	同上
	県立六甲山ビジターセンター	同上	同左	平日 15時 土日祝 16時
公園等	県立但馬牧場公園	同上	同左	17時
	県立三木山森林公園	同上	同左	21時 レストラン 17時
	各県立ふるさとの森公園	同上	同左	18時

緊急事態宣言下における県管理の河川、ダム、海岸、港湾等の親水施設での対応

1 対応の内容

- (1) 注意喚起看板を設置(①飲食自粛、②飲酒禁止、③身体的距離の確保)【90 施設】(継続)
- (2) 占使用許可を受けて公園等を設置する市町等に対して同等の措置を協力要請 (継続)

2 対応状況

県民局・センター	主 な 施 設(市町の占用施設を含む)
神戸	住吉川、都賀川※、生田川など
阪神南	武庫川、夙川、芦屋川、御前浜・香櫨園浜、甲子園浜海浜公園など
阪神北	武庫川、逆瀬川砂防モニュメント、青野ダム周辺公園など
東播磨	曇川、水田川、江井ヶ島緑地、高砂海浜公園など
北播磨	東条川、手前川、三谷谷川、轟谷川など
中播磨	越知川、なぎさ公園、福泊マリンベルトなど
西播磨	千種川、鞍居川、坂越ふるさと海岸など
但馬	与布土ダム、気比海岸、浜坂県民サンビーチなど
丹波	川代公園、氷上さくら公園など
淡路	諭鶴羽ダム、淡路交流の翼港、多賀海岸、慶野松原海岸、など

※都賀川では、県・市・警察による合同河川パトロールにおいて、バーベキューや外飲みの自粛呼びかけなど感染拡大防止のための啓発を実施 (5/2、5/15、5/23、5/29(予定))

緊急事態宣言の再延長に伴う学校及び社会教育施設等の対応

公立学校

【県立学校】

①教育活動【6月1日～6月20日まで】

- 「学校に持ち込まない、学校内に広げない」を基本に実施。
- 県外活動（修学旅行を含む）は行わない。
- 校外から大人数を呼び込むような校内行事（オープンハイスクール、学校説明会、授業参観等）は、原則自粛とする。

②部活動【6月1日～6月20日まで】

- 平日（4日）は、十分な感染防止対策を実施したうえで、校内（活動拠点が無い場合は当該施設含む）のみ活動を実施する。なお、練習試合、合宿等、宿泊を伴う活動は実施しない。活動時間は2時間以内とする。
- 土日は、原則休止とする。
（高体連・中体連等が主催する大会参加、それに伴う練習：現行通り）
 - ・合宿等、宿泊を伴う活動は実施しない。ただし、公式試合出場に際し、遠距離等の理由から宿泊が必要な場合は可とする。

③心のケア

- きめ細やかな健康観察をはじめ、児童生徒の状況を把握し、心身の健康に適切に対応する。
 - ・児童生徒の心のケアアンケート調査の実施
調査時期：5月、11月
対 象：各市町（神戸市含む）小学校1校（6年生）、中学校1校（3年生）
（期間延長）
 - ・SNS 悩み相談の拡充（6月20日まで）（17:00～21:00 → 16:00～22:00）

社会教育施設等（教育委員会所管分）

県立施設については、感染防止対策を実施した上で開館する。

※なお、使用制限等については、対処方針の「施設の使用制限等」とする。

県内大学・専門学校における授業、部活動・サークル活動の取扱いについて

○現行の取扱いを継続する

1 授業形態

対面授業の実施の際には、感染防止対策の徹底を要請しているが、若い世代の感染者が急増している状況を踏まえ、さらなる感染防止の徹底を図るため、オンライン授業を積極的に活用

対面授業の実施の際には、キャンパス・校舎内や通学時等のマスク着用の徹底、時差通学の推進

2 部活動・サークル活動

○部活動・サークル活動は、実施しない

○ただし、下記※の大会への参加及び当該大会への参加に向けて、大学等が必要と判断し、活動を行う場合には、以下を遵守

- ・合宿等、宿泊を伴う活動は実施しない
- ・更衣室・部室でのミーティング時、試合等における部員の応援時にはマスクを着用
- ・近距離で飛沫が飛ぶ接触は避ける

※中央競技団体・文化関係連盟等が主催する大会（その予選を含む。）及び国民体育大会（その予選を含む。）。参加する際は、主催者の行う感染予防措置を確認するとともに、その徹底を図る

【考え方】

○緊急事態宣言下において、感染者に占める若い世代の割合が引き続き高い状況にある

○実習をはじめ講義内容に応じて必要な場合には、対面授業は可能

（参考：緊急事態宣言に伴う授業実施方法の変更）

	原則 対面授業	対面・オンライン併用		原則 オンライン
		対面主体	オンライン主体	
大学・短大 (計 50 校)	1 9 ↓ 1	2 1 ↓ 1 2	7 ↓ 2 0	3 ↓ 1 7
専門学校 (計 69 校)	4 5 ↓ 2 5	1 5 ↓ 1 8	6 ↓ 1 5	3 ↓ 1 1

○大学等が必要と判断した場合は、大会等への参加や参加に向けての活動は可能

○大学等から緩和の要望等はない

参考：大阪府・京都府の要請内容 【変更なし】

	大阪府	京都府
授業の形態	原則オンラインとし、困難な場合は、クラスを分割した授業や大教室の活用等により密を回避	オンライン授業を積極的に活用し、一度に入構する学生数を50%以下に抑える
部活動・サークル活動	学生に対し、部活動の自粛を徹底	許可制の導入や他府県への遠征は中止または延期するなど、感染防止対策に留意すること。なお、中止または延期できない場合は、主催者による十分な感染対策が講じられていることを確認の上、事前にPCR検査を受検し、「陰性」であることを確認すること。

若い方・学生向け動画<第2弾> (5月28日~)

「コロナ禍で、〇〇〇が私を支える」(45秒バージョン)

<https://youtu.be/a-qVBYOgSfU>



路上等における飲酒自粛の注意喚起活動の実施について

1. 三宮北部地区における外出自粛、路上飲み自粛要請活動

(1) 実施内容

緊急事態措置終了まで、三宮北部地区において、客引き行為防止指導の見回りにあわせて、引き続き、外出自粛、路上飲み等の自粛を呼びかける。

特に、毎週金曜日（緊急事態措置終了まで）は、人員を増強して重点的に呼びかけを実施する。

(2) 実施場所

三宮北部地区を2班体制で、午後6時頃から実施

- ・ Aコース : 生田新道から山手幹線までの北エリア
- ・ Bコース : 阪急神戸三宮駅から生田新道までの南エリア

(3) 実施体制

- ① 毎週金曜日 : 7人 × 2班

※客引き行為等防止指導員に加え、地域安全課職員及び警察官も同行

- ② その他の日 : 2人 × 2班

2. 県民局・県民センターによる注意喚起活動

(1) 実施内容

緊急事態措置終了まで、県内各地の繁華街等において、外出自粛の街頭啓発等にあわせて、路上飲み等の自粛を呼びかける。

(2) 実施場所

各県民局・県民センター管内の繁華街等で午後6時頃から実施

(3) 実施体制

各県民局・県民センター職員数名で随時実施（週1～2回程度）

感染防止に向けた啓発活動の実施状況

	①全般的な啓発	②飲食店への啓発	③若者への啓発等	④その他
神戸市 尼崎市 西宮市 芦屋市 伊丹市 宝塚市 川西市 三田市 猪名川町 明石市	<ul style="list-style-type: none"> ○市町ホームページ、SNS、各種デジタルサイネージ等による呼びかけ ○コミュニティFMやケーブルテレビの市提供番組での啓発放送 ○ひょうご防災ネットによるメッセージ発信 ○Yahoo 防災アプリでの広報 ○啓発ポスターの公共施設、市内地域のコミュニティ掲示板等への掲示 ○市本庁舎庁内放送による来庁者への外出自粛等の呼びかけ ○市町広報車による啓発パトロール、消防車両による巡回広報の実施 ○警らパトロール中の警察車両による広報 ○防災スピーカーによる啓発放送 ○公園や路上見回りによる集団飲酒の自粛呼びかけ ○ドローンによる呼びかけ ○「子ども見守りパトロール」と連携した公用車による呼びかけ(市内一円) ○医療従事者・大学生が出演した感染防止啓発動画を配信 	<ul style="list-style-type: none"> ○県・市合同の連携チームによる飲食店等に対する店舗見回り ○業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策の徹底を呼びかけ ○繁華街において不要不急の外出自粛を呼びかけるとともに、店舗等に対して午後8時までの営業時間短縮要請の徹底を呼びかけ ○飲食店を訪問し、営業時間短縮を呼びかけるとともに、時短協力等の状況を確認 ○ひょうご防災ネットにより時短要請協力金について情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町ホームページ、SNS、各種デジタルサイネージ等による呼びかけ ○高等学校・専門学校・大学に啓発ポスターを送付し、掲示を依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ○出勤削減、テレワーク等の取組を市内事業者等へ依頼 ○市長・町長会見による呼びかけやメッセージの発信 ○市町公共施設の時短営業実施
県民局・ 県民センター ※別紙参照	<ul style="list-style-type: none"> ○職員等による夜間も含めた街頭啓発 ○駅や商業施設、庁舎等にポスターを掲示 ○コミュニティFM、ケーブルテレビ、ひょうご防災ネット等による呼びかけ ○道路情報板での周知情報の表示 ○イベント、会合等での知事メッセージの配布 ○庁舎等への懸垂幕の掲示 ○商業施設周辺でのメッセージ看板を付けた公用車による呼びかけ ○駅での不要不急の外出自粛等のメッセージ入りマスク配布 ○幹部が出席する会合等で感染防止を呼びかけ ○コンビニ等の酒類提供店に店先・路上等での飲酒禁止啓発ポスターの掲示を依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ○市、県警と合同で繁華街の飲食店に呼びかけ ○食品衛生協会会員への感染防止対策徹底の周知を依頼 ○商工会議所等を通じたガイドライン等に基づく対策の依頼や支援制度の周知 ○飲食店を併設する商業施設等でのポスター掲示 ○食品衛生法の立入指導の際にガイドライン等に基づく対策を依頼 ○時短等の要請に応じていない飲食店に対する指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○SNS やインターネットによる若者向けメッセージの配信 ○若者の地域活動団体へ関係者への呼びかけを依頼 ○大学でのポスター掲示や学内放送による啓発 ○県立学校での啓発 ○商工会青年部等を通じた会員への啓発 ○看護学生による動画配信や出前講座の実施 ○小中学校に感染防止対策の徹底を依頼 ○高校生が作成する感染防止に係る学校新聞を全校生徒及び近隣駅で配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○新聞社支局を訪問し、対策徹底等の報道を依頼 ○社会福祉協議会・在宅福祉サービス事業者に感染防止対策の徹底を依頼 ○感染防止対策の要請コメントを貼付した封筒による啓発 ○高齢者大学でのポスター掲示による啓発 ○医師会・薬剤師会等を通じた医療従事者への啓発 ○管内市長連名による独自の緊急事態宣言発信 ○河川敷での飲食・飲酒等の自粛について職員が啓発

	①一般的な啓発	②飲食店への啓発	③若者への啓発等	④その他
本 庁	<ul style="list-style-type: none"> ○県ホームページ・SNS・Youtube 等での県対処方針・知事メッセージ・動画配信等による啓発 ○テレビ番組「ひょうご発信！」での啓発 ○FM・AM ラジオでの啓発 ○広報車による呼びかけ ○三宮センター街、神戸国際会館等の大型モニターで啓発動画を放映 ○イオン・コープこうべの店舗で館内放送 ○ホール、美術館等の施設におけるポスター、チラシ配布 ○県民だよりひょうご臨時号の発行による啓発 ○三宮北部地域における外出自粛要請 ○夕刻に、県職員（客引き行為等防止指導員等）、生田署員及び県警生活安全企画課員により三宮北部地域で巡回啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染拡大防止への取組確認のため、飲食店等の見回りを実施し、あわせて感染対策や補助金等のチラシを配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ミント神戸の「ミントビジョン」で啓発動画を放映 ○県内大学、高専、専修学校・各種学校に、オンライン授業の積極的活用、部活動・サークル活動の自粛、知事メッセージ・学生向け動画の配付・送信などを要請 ○県内経済団体を通じた、企業の若手社員に対する知事メッセージ・動画配信等による啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ヤマト運輸（株）と連携した新型コロナ感染防止啓発（県内セルフライバー等ワッペン着用、配送センターへのポスター掲示、トラックへの啓発ステッカー貼付） ○社会福祉施設事業者に感染防止対策の徹底を依頼

緊急事態措置に伴う啓発活動の実施状況

	取 組 内 容
神戸県民センター	<p>①全般的な啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三宮等での職員による街頭啓発（4/5、22、25、28、5/14） 阪急神戸三宮駅北交差点（生田新道交差点）・東門街南入口付近・JR元町駅東口南側、JR 三ノ宮駅西口南側交差点・JR 六甲道駅等において「不要不急の外出・移動を自粛」、「大人数、長時間の飲食をしない」、「路上飲み等の自粛」など、感染防止の徹底を呼びかけ ○新長田合同庁舎デジタルサイネージによる啓発ポスター表示（4/5～） ○JR 新長田駅前での啓発ポスター掲示（4/6～） ○新長田駅南地区商業施設等へのポスター掲示（4/6～） ○幹部が出席した会合等の場で感染防止を呼びかけ（随時） ○ひょうご防災ネットによるメッセージ配信（随時）
	<p>②飲食店への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三宮での職員による街頭啓発〔再掲〕 飲食店利用者に向けた場所・時間（繁華街で16:30から1時間程度）で実施
	<p>③若者への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○看護学生3人による新型コロナウイルスの感染防止についてのフリートーク動画作成 ○フリートーク動画の県公式 YouTube での配信、県公式 twitter への投稿（4/23～） ○淡路市からの依頼によるフリートーク動画の提供 ○フリートーク動画参加の看護学生による高校生への新型コロナウイルス感染防止出前講座の実施（神戸市内3校：4/26、27、28） ○出前講座の様子を県広報動画サイト「なおみチャンネル」で配信 ○「なおみチャンネル」動画を神鉄鈴蘭台駅構内の大型ビジョン及びデジタルサイネージで配信 ○出前講座の様子を神戸鈴蘭台高校編集部員が学校新聞「鈴校 mini プレス」にまとめ、全校生徒及び鈴蘭台駅構内で配布 ○出前講座参加の看護学生への広報専門員によるインタビューをウェブサイト「ヒョーゴピックス『新型コロナ私たちの記録』」で配信（5/24） ○ひょうご防災ネットによる若者向けのメッセージ配信（随時） 30代以下の若者に向けた内容のメッセージを配信
	<p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民センターホームページ（センター長メッセージ）での感染防止対策の要請（4/25、5/11 更新） ○地域団体広報誌において感染防止対策の徹底の呼びかけ ○都賀川における飲食・飲酒等自粛啓発活動（5/2、15、23） 「飲食・飲酒の自粛」「距離の確保」をお願いするパネルを持って河川敷を巡回し、バーベキュー利用者へ直接呼びかけ ○都賀川等における飲食・飲酒等自粛看板の掲示（5/19～） 河川敷への入り口付近に、飲酒等の自粛を呼びかける看板を掲示

阪神南 県民センター	①全般的な啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○尼崎市、県警と合同での職員による街頭啓発（4/5・9・16） 内容：阪神尼崎駅、阪急塚口駅、JR立花駅周辺の繁華街において不要不急の外出自粛、感染防止対策の徹底の呼びかけ ○コミュニティFMでの注意呼びかけ（4/9・16・20・23・30・5/7・14・21・28） 内容：FM尼崎（尼崎市エリア）、さくらFM（西宮・芦屋エリア）で、放送内容を変更し、不要不急の外出自粛、感染防止対策の徹底を呼びかけ ○県民センター職員による街頭啓発（4/22・28） 内容：阪神尼崎駅、JR尼崎駅、阪急西宮北口駅において不要不急の外出自粛、感染防止対策の徹底の呼びかけ ○尼崎市と合同での職員による街頭啓発（4/25・30・5/3） 内容：阪神尼崎駅において不要不急の外出自粛等のメッセージ入りマスクを配布 ○庁舎屋外掲示版による啓発（4/28～） 内容：緊急事態宣言発出中であることを掲出 ○尼崎市、西宮市、県警と合同での職員による街頭啓発（5/14・21・28） 内容：阪神尼崎駅、JR尼崎駅、阪急西宮北口駅、阪神西宮駅周辺の繁華街において路上等での飲酒自粛、不要不急の外出自粛の徹底の呼びかけ
	②飲食店への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○尼崎市、県警と合同での職員による飲食店への啓発（4/5・9・16） 内容：阪神尼崎駅、阪急塚口駅、JR立花駅周辺の繁華街の飲食店に時短営業、感染防止対策の徹底の呼びかけ
	③若者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○大学生向けメールマガジンへのメッセージ掲載 内容：NPO法人発行の大学生・若年層向けメールマガジンへ不要不急の外出自粛、感染防止対策の徹底等のメッセージを配信 ○感染防止啓発動画を作成中
	④その他	<ul style="list-style-type: none"> ○管内新聞社支局への訪問周知 内容：感染防止対策の徹底等の報道を依頼 ○県民センターホームページ（センター長メッセージ）での感染防止対策の要請
阪神北 県民局	①全般的な啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○県民局職員による街頭啓発（4/22・25・28・5/12・14・21・28） JR・阪急宝塚駅、阪急川西能勢口駅、阪急伊丹駅周辺において、職員による「不要不急の外出・移動の自粛」「大人数での飲食の自粛」「路上等で飲酒をしない」など、感染防止対策の徹底を呼びかけ ○県民局情報番組での注意呼びかけ（4/6・8、5/4・6） 内容：コミュニティFM（宝塚・伊丹・三田）の県民局情報番組「きらっと☆阪神北だより」で県民局長等から感染拡大防止対策の徹底を呼びかけ ○管内商工業事業者会議で感染防止対策の呼びかけ（4/22） ○庁内放送及び知事メッセージ掲示による来庁者への啓発（継続実施） ○宝塚総合庁舎デジタルサイネージでの啓発動画の放映（継続実施） ○県民局ホームページ（局長メッセージ）による感染防止対策の呼びかけ（継続実施）
	②飲食店への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○管内食品衛生協会に会員への感染防止対策徹底の周知を依頼（4/6・16・23・5/7）
	③若者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○若者向け感染防止啓発動画の作成 内容：若者向けの感染防止を啓発する動画を作成しYouTubeで配信（4/28～）するとともに、地元ケーブルテレビで放送（4/29～5/10）、若者の地域活動団体間に配信 ○管内の中間支援NPO（宝塚・川西・三田）に会員ほか関係ある若者への周知を依頼（4/6） ○管内の若者の地域活動団体（伊丹・川西・三田）に関係ある若者への周知を依頼（4/6） ○管内の商工会議所・商工会青年部に会員への周知を依頼（4/6） ○ひょうご防災ネットによる若者向けのメッセージ配信（4/8） 30代以下の若者に向けた内容のメッセージを配信
	④その他	<ul style="list-style-type: none"> ○管内の社会福祉協議会・在宅福祉サービス事業者に感染防止対策の徹底を依頼（4/8～）

東播磨県民局	①全般的な啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○来庁者への啓発（庁内放送・ポスター掲示） ○県民局ホームページトップ画像での注意喚起 ○JR加古川駅でのポスター掲示 ○地元ケーブルテレビ局による啓発（県民局情報番組・ラジオ番組） ○総合庁舎等での懸垂幕の掲示 ○職員による街頭啓発 <p style="margin-left: 2em;">JR 明石駅(4/22, 5/21)、加古川駅(4/28, 5/14)、東加古川駅(5/28)において「不要不急の外出の自粛」「大人数、長時間の飲食は自粛」等、まん延防止対策の徹底を呼びかけ</p>
	②飲食店への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○商工会議所等を通じた啓発（会員への啓発を依頼） ○飲食店を併設する商業施設等でのポスター掲示（加古川ヤマトヤシキ、ニッケパークタウン、にじいろふぁ～みん（JA直売所）） ○時短等の要請に応じていない飲食店に対する指導(5/19, 20)
	③若者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○兵庫大学でのポスター掲示 ○管内県立学校での啓発（教育事務所を通じて各校へ依頼）
	④その他	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者への啓発（いなみ野学園でのポスター掲示等を依頼）
北播磨県民局	①全般的な啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ひょうご防災ネット（メール）による呼びかけ（4/6～（週1回）） ○管内の道路情報板（7箇所）での周知情報の表示（4/7～） ○庁舎内における庁内放送及びポスター掲示の実施（継続実施） ○庁舎ロビーでのデジタルサイネージによる啓発動画の放映（継続実施） ○県民局ホームページでの感染防止対策の要請（継続実施） ○イベント、会合等での知事メッセージの配布（継続実施） ○管内主要施設（鉄道駅、バス営業所、ホテル、商業施設等）へのポスター掲示（継続実施） ○庁舎（社総合庁舎、三木庁舎）における屋外懸垂幕掲出による感染防止対策の啓発 ○公用車で管内を巡回し、感染防止対策の徹底を呼びかけ（4/26～）
	②飲食店への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○上記の全般的な啓発を通じて実施 ○管内のスナック、カラオケ店等に対し、コロナ感染拡大のガイドラインの周知（継続実施） ○業種別ガイドライン遵守状況調査（飲食店への訪問調査）を実施（5/19）
	③若者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○管内大学（兵庫教育大学、関西国際大学）へのポスター掲示及び学内放送等の啓発を依頼（4/9～） ○管内の駅前や繁華街、公園等を巡回し、感染防止対策の徹底を呼びかけ（5/10～） ○コンビニやスーパー等酒類を小売販売する店舗に対し、路上等での飲酒禁止の呼びかけの協力依頼（5/13～）
	④その他	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン会議での啓発動画の配信（随時） ○感染防止対策の要請コメントを貼付した封筒による啓発（4/6～）

中播磨県民センター	①全般的な啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○庁内放送による来庁者等への呼びかけ（毎日1回） ○姫路総合庁舎（東側壁面）に懸垂幕「新型コロナウイルス感染拡大防止！不要不急の外出を控えましょう。毎日の検温、マスクの着用、換気を徹底しましょう。」を掲出 ○FM“GENKI”で「県作成呼びかけメッセージ」を放送（第2、第4金曜日） ○ひょうご防災ネットを活用した感染防止徹底の周知（メール）による呼びかけ（4/21） ○JR姫路駅前北側での職員による街頭啓発（4/25、4/28、5/12、5/26） JR姫路駅前北側にぎわい交流広場及び御幸通り前において「不要不急の外出・移動を自粛」、「大人数、長時間の飲食は自粛」など、感染防止の徹底を呼びかけ（5/12は姫路市との合同街頭啓発） ○姫路城周辺や魚町等歓楽街での職員による街頭啓発（5/20） 姫路城周辺や魚町等歓楽街、市役所・官庁周辺のコンビニエンスストアへ、店先や路上・公園などでの飲酒禁止の協力依頼 ○公用車で管内を巡回し、感染防止対策の徹底を呼びかけ（5/6～）
	②飲食店への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○FM“GENKI”で「県作成呼びかけメッセージ」を放送（第2、第4金曜日）
	③若者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○中播磨県民センター管内4大学へポスターの掲出依頼（4/27） ○FM“GENKI”で「県作成呼びかけメッセージ」を放送（第2、第4金曜日）
	④その他	—
西播磨県民局	①全般的な啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○各種行事、団体等を通じた知事メッセージの周知・配布（4/5～） ○県庁舎等での知事メッセージの掲示（継続実施） ○庁内放送による職員、来庁者等への呼びかけ（継続実施） ○管内の道路情報板を利用した呼びかけ（4/5～） ○県民局ホームページ（局長メッセージ）での感染拡大防止対策徹底の呼びかけ（4/7～） ○ひょうご防災ネットでの感染拡大防止対策徹底の呼びかけ（4/7～） ○公用車による自動車啓発（継続実施） ○路上等での飲酒状況にかかる夜間巡回（5/11～）
	②飲食店への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○飲食店等への食品衛生に係る立入指導の際に感染防止対策徹底の要請（随時）
	③若者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○管内県立高校訪問による感染拡大防止対策徹底の依頼（4/6～4/9）
	④その他	—

但馬県民局	① 全般的な啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公用車による自動車啓発（土日含む毎日）（4/26～） ○ 但馬県民局管内の道路情報板での呼びかけ（継続実施） ○ 地域コミュニティFM（FMジャングル）での呼びかけ（継続実施） ○ 県庁舎での呼びかけメッセージの庁内放送（継続実施） ○ 県庁舎等での知事メッセージの掲示（継続実施） ○ イベント、会合等での知事メッセージの配布（継続実施） ○ 豊岡総合庁舎デジタルサイネージでの啓発動画の放映（継続実施） ○ 県民局ホームページによる感染防止対策の呼びかけ（継続実施）
	② 飲食店への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店等への食品衛生に係る立入指導の際に感染防止対策の徹底を要請（継続実施） ○ イベント、会合等での知事メッセージの配布（継続実施）（再掲） ○ 飲食店への個別訪問による業種別ガイドライン遵守状況の調査及び指導（5/19, 20） ○ 自粛要請に応じていない飲食店への知事メッセージ等の投函（5/11, 12, 20）
	② 若者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管内の大学にポスター掲示及び学生への知事メッセージの配付を依頼（継続実施） ○ 県民局ホームページによる感染防止対策の呼びかけ（継続実施）（再掲）
	④ その他	—
丹波県民局	① 全般的な啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年愛護活動推進員による路上飲酒等自粛要請 有害環境調査時に、コンビニ等に対し路上飲酒禁止啓発ポスターを配布し掲示を依頼するとともに、駐車場等で感染リスクの高い行動を行っている者に対し、注意喚起を行うよう要請 ○ 路上飲酒注意喚起巡回パトロール 夜間の商業施設等を中心に巡回パトロールを実施（毎週金曜夕刻） ○ 庁舎内における啓発 内容：柏原総合庁舎及び篠山庁舎において、庁内放送及び懸垂幕の掲出、デジタルサイネージによるメッセージの放映 ○ JR駅内（篠山口・柏原・谷川・黒井）における「ひょうごスタイル」ポスターの掲出 ○ 県民局ホームページ（局長メッセージ）等による啓発 内容：県民局HP、ひょうご防災ネット等で対策の徹底を呼びかけ ○ 各市へ啓発依頼・実施 内容：防災行政無線（全戸配布）、有線、メールによる周知 ○ 自動車啓発 内容：管内商業施設周辺等において、メッセージ看板を付けた公用車により対策の徹底を呼びかけ ○ イベント、会合等での知事メッセージ配布
	② 飲食店への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベント、会合等での知事メッセージ配布（再掲） 内容：商工会関連団体総会等にて知事メッセージを配布、対策の徹底を呼びかけ
	③ 若者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管内で地域貢献活動に取り組む大学生団体に知事メッセージを送付 ○ ホームページ等による啓発（再掲） 内容：県民局HP、ひょうご防災ネット等で対策の徹底を呼びかけ
	④ その他	—

淡路県民局

<p>①全般的な啓発</p>	<p>○ひょうご防災ネットを活用した感染防止対策徹底の呼びかけと各コールセンター連絡先の周知（4/14、4/28） ○県民局ホームページ（局長メッセージ）による感染防止対策の呼びかけ（継続実施） ○洲本総合庁舎における呼びかけメッセージの放送及び知事メッセージの掲示による注意喚起（継続実施） ○庁舎ロビーでのデジタルサイネージによる啓発動画の放映（継続実施） ○庁舎の屋外懸垂幕掲出による感染防止対策の啓発（継続実施） ○淡路県民局管内の道路情報表示板（16か所）で注意喚起（4/15～） ○各種会議における感染防止対策徹底の周知（随時） ○災害時緊急車両（2tトラック）に路上飲酒自粛の掲示を行い、呼びかけメッセージを放送しながら管内を啓発巡回（5/11～）</p>
<p>②飲食店への啓発</p>	<p>○淡路島内の商工会議所及び商工会を通じて、飲食店等にあらためて業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策の徹底を依頼するとともに、各種支援制度を周知（4/6、4/14） ○飲食店に対する食品衛生に係る立入指導の際に、業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策の徹底を依頼（随時） ○食品衛生関係団体に文書により感染防止対策の徹底を依頼（5/7） ○コンビニ店等酒類提供店に「店先・路上等での飲酒禁止啓発ポスター」の掲示や店先・路上等での飲酒禁止の呼びかけの協力を依頼（5/18～）</p>
<p>③若者への啓発</p>	<p>○淡路島内の大学に対し、知事メッセージ等の周知を依頼（随時） ○教育事務所・教育委員会を通じて、淡路県民局管内の小・中・高校に感染防止対策の徹底を依頼（4/22）</p>
<p>④その他</p>	<p>○淡路島内3市に、住民への感染防止対策徹底の周知を依頼（4/16） ○淡路県民局長・島内3市長の連名により「淡路島緊急事態宣言」を発出し、HPや各種広報媒体を活用して住民へ感染防止対策の徹底を要請（4/28） ○淡路島内の医師会・薬剤師会等を通じて、医療従事者の方に感染防止対策の徹底を依頼（4/20）</p>

新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針

兵庫県では、令和2年4月7日に新型インフルエンザ等対策特別措置法（以下「特措法」という。）第32条第1項に基づく緊急事態措置区域となったことから、医療・検査体制、外出自粛、中小企業支援など多岐にわたる対策を取りまとめた対処方針（以下「本方針」という。）を策定し、新型コロナウイルス対策の全体像を県民に明らかにしながら、緊急事態措置等を実施した。

令和2年5月21日に緊急事態措置区域を解除された後も、患者発生状況や分析結果等を踏まえて本方針を順次改定し、対策を積み重ねてきた。

令和3年1月13日、特措法第32条第3項に基づき、再び緊急事態措置区域となったことから、本方針に基づき、緊急事態措置を実施してきた。

令和3年2月28日をもって、本県は緊急事態措置実施区域から解除されたが、再び感染が拡大し、令和3年4月5日からまん延防止等重点措置を実施している。しかし、感染の急拡大が収まらない状況であるため、令和3年4月21日に政府へ緊急事態宣言の発出を要請し、4月23日、本県が特措法32条第1項に基づく緊急事態措置実施区域とされたことから、以下の緊急事態措置を実施する。

I 区 域

兵庫県全域

II 期 間

緊急事態措置実施期間	令和2年4月7日～令和2年5月21日 令和3年1月14日～令和3年2月28日
まん延防止等重点措置実施期間	令和3年4月5日～令和3年4月24日
緊急事態措置実施期間	令和3年4月25日～令和3年 <u>6月20日</u>

III 措 置

1 医療体制

(1) 入院体制

① 病床の確保

- 重症対応 136 床、中等症 789 床、軽症 226 床の計 1,151 床を確保した。運用病床を順次拡大するとともに、1,200 床程度の体制構築を目指す。
- 空床補償経費について独自の上乗せを行うとともに、入院治療を行う医療機関に対し入院患者受入の支援を行う。
- 人工呼吸器や個人防護服等の整備を支援する。
- 厚生労働省・全国知事会と調整し、重症対応病院等への看護師の応援派遣（50 名）を受入れる。

② 重症者への対応

- 県立加古川医療センターを県内全域の患者に対応する「新型コロナウイルス感染症拠点病院」、神戸市立医療センター中央市民病院・県立尼崎総合医療センターを重症患者等に対応する「新型コロナウイルス感染症重症等特定病院」に位置づける。

- 県立加古川医療センターにおいて、臨時の重症専用病棟を活用し、併せて人材育成にも活用する。
- 中等症患者の診療体制の充実と重症対応医療機関の負担軽減を図るため、最新の知見に基づく標準治療を周知する。

③転院の促進

- 重症対応医療機関から中軽症対応医療機関等への転院促進及び入院対応医療機関から宿泊療養施設への転送を促進する。
- 県病院協会・県民間病院協会に看護師等を配置した「転院支援窓口」を設置し、医療機関の地域連携室等と連携し回復者の転院受入を促進する（受入登録病院：218 病院）。
- 退院基準を満たした重症・中等症患者の更なる転院を促進するため、人工呼吸器等の整備支援（1 病床あたり上限 6,000 千円）を実施する。
- 入院対応医療機関から一般医療機関への転院を促進するため、転院受入支援（1 名受入あたり 10 万円）を実施する。

④精神科医療への対応

- 感染管理認定看護師等の派遣による感染症対策研修を実施する。
- 感染者発生時、感染症専門医・感染管理認定看護師による感染拡大防止対策指導や陽性者への治療支援を行う。

⑤その他

- がん患者、透析患者、障害児者、妊産婦・小児の患者などは特に配慮する。
- 医療機関における面会等について、感染を防ぐため、直接面会の自粛を要請する。

(2) 無症状者や軽症者への対応

①基本的な方針

- 無症状者や軽症者については、宿泊療養施設の増加、医療ケアの充実も図られたことから、妊婦や重症化のおそれがある基礎疾患をもつ者など入院対応が望ましい場合を除き、宿泊療養施設での療養を基本とする。なお、子育てや介護等の特別な事情がある者で、感染対策を十分に行える場合には、引き続き、自宅での療養も可能とする。

区 分	対 象 患 者
入 院	中等症以上の者。特に中等症Ⅱ（SpO2≦93%、酸素投与が必要）以上の者は優先して入院
宿 泊 療 養	無症状または軽症者
医療強化型	65 歳未満で呼吸不全のない中等症患者、もしくは 65 歳以上の軽症者
自 宅 療 養	子育てや介護等の特別な事情がある者で、感染対策を十分に行える場合

②宿泊療養施設の確保

- 新たな病床確保計画における必要室数(1,500 室程度)を確保し、現在 1,475 室の運用を行っている。
- 患者搬送力の強化、調整事務スタッフの充実、運営体制の強化により、宿泊療養施設の稼働率の更なる向上を図る。
- オンコール医師等の対応に加え、兵庫県医師会及び神戸大学医学部附属病院の協力の下、医師派遣施設を 3 施設（神戸・西宮・姫路）設置し、医療ケアの充実を図っている。さらに、兵庫県医師会・兵庫県薬剤師会の協力の下、5 月 21 日から 2 施設（神戸・西宮）において、往診を開始している。運用状況等を踏まえ、順次、他の宿泊療養施設へも拡大する。

(3) 円滑な入院調整等の実施

- 各保健所による入院調整を基本としつつ、圏域を越える入院等各保健所の依頼により、新型コロナウイルス入院コーディネートセンター（CCC-hyogo）が症状に応じた適切な入院調整もしくは宿泊療養調整を行う。
- 医師（災害医療コーディネーター）及び調整事務スタッフ（看護系大学の教員等）の充実に伴い、入院調整機能を強化する。

(4) 自宅待機者等に対するフォローアップ体制の強化

- 家庭訪問による継続した健康観察等を行うなど、症状をふまえた的確な対応を行う。
 - ・感染予防対策の周知徹底、アプリを活用した健康観察、相談対応
 - ・高齢者や基礎疾患を有するなど特に注意が必要な方には、パルスオキシメーター等を活用した家庭訪問による健康観察を行う。
- 保健所等が受診を勧奨し、往診を実施した医療機関等へ支援（医療機関：5万円/日、薬局：1万円/日、訪問看護：3万円/日）を行うとともに、必要に応じて食料品・衛生資材等の配布やパルスオキシメーターの貸出を行う。

(5) 外来医療体制の強化

- 帰国者・接触者外来を75機関設置している。発熱等診療・検査医療機関1,181ヶ所を指定している。
- かかりつけ医等地域の身近な医療機関に電話相談し、指示に従って受診すること、かかりつけ医等がない時は「発熱等受診・相談センター（健康福祉事務所・保健所）」や「新型コロナ健康相談コールセンター（全県）」へ相談することを呼びかける。特に発熱や咳などの比較的軽い症状でも、高齢者や基礎疾患を有する者は早めの相談を呼びかける。

(6) 検査体制の強化

- 衛生研究所、民間検査機関、帰国者・接触者外来へのPCR検査機器購入支援などにより、検査体制の充実を図り、7,970件/日の検査件数を確保している。
- 県立健康科学研究所では、自施設で検査した陽性検体のCt値30以下の検体について変異株PCR検査を実施している。ゲノム解析も実施している。
- 保健所を介さず検査を行う「地域外来・検査センター」を8ヶ所開設している。
- 抗原検査について、救急患者の早期診断やインフルエンザの流行期における発熱患者への検査等に活用する。また、抗体検査については、正確な感染状況の把握に資するため、神戸大学と協力して研究を推進する。

【PCR検査体制】

区 分		現状（件）	従前（件）
衛 生 研 究 所 等	兵 庫 県	700	700
	保 健 所 設 置 市	685	685
	小 計	1,385	1,385
民 間 検 査 機 関		2,810	2,440
医 療 機 関		3,775	2,375
合 計		7,970	6,200

(7) 幅広い検査の実施

- 医療機関や社会福祉施設、学校などで陽性者が確認され、感染の拡がりや疑われるなど、クラスター（集団感染）の発生が懸念される場合には、濃厚接触者以外にも幅広く関係者を対象として検査を実施する。

- 特に社会福祉施設等では、職員・入所者等で発熱や呼吸器症状等を呈している場合は、陽性者の有無に関わらず、幅広く迅速かつ積極的に検査を実施する。更に、希望する社会福祉施設等を対象として、新規就労職員及び新規入所者（ショートステイも含む）に対してPCR検査を実施する。
- 県内全域（保健所設置市を除く）の高齢者・障害者入所施設の従事者を対象とした集中的検査について、特措法第24条第9項に基づき受検を要請する。
- 再度の感染拡大の予兆を早期に探知するため、政府（内閣官房）が市中（商店街、ショッピングモール、駅、民間事業所等）において実施するモニタリング検査に協力する。

(8) ワクチン接種の推進

- 新型コロナウイルスワクチンについて、迅速かつ円滑な接種体制の構築が図れるよう、医師会、市町等と連携・調整を行う。
- 県が調整主体となる医療従事者向け優先接種について、接種施設の確保、地域の中核医療機関への業務に対する支援、統一的なオンライン予約システムの構築等に努める。
- 6月中旬に大規模接種会場を西宮市及び姫路市に設置することにより、高齢者等の接種を促進するとともに、接種希望者の利便性の向上を図る。

(9) 医療用マスク・防護服等の確保

- 医療機関に代わり県において医療用マスク及び防護服等について、概ね6ヶ月分の使用量相当を確保している。
- 発熱等診療・検査医療機関に対し、緊急時においては国から必要な医療資機材（サージカルマスク、ガウン、フェイスシールド、非滅菌手袋）が提供されることとなり、状況に応じて県からも提供する。

(10) 感染者受入医療機関等への支援

- 県・市町（神戸市を除く）の協働により、「ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金」を兵庫県健康財団に創設し、医療機関関係者等に対し、寄附による勤務環境改善等を行う（令和2年10月に医療機関へ第1次配分済）。
- 感染者及び疑似症患者への入院治療を行う医療機関に対する運営に要する経費（入院患者1人あたり12,000円/日）を支援する。
- 感染者等への対応業務に従事した県立病院等職員に対する特殊勤務手当を増額する（日額300円→3,000円、感染者等の身体に直接接触する作業等の場合は4,000円）。

(11) 救急医療等の院内感染防止への支援

- 救急・周産期・小児医療機関において、感染の疑いのある患者が受診した場合に、必要な診療を行うことができるよう院内感染防止対策を支援する。
・設備整備補助：簡易陰圧装置、簡易ベッド、空気清浄機等

(12) 保健所体制の強化

- 感染対策に資する改修や検査体制の充実、患者移送車等の整備等を図る。
- 県・関係機関等や県民局（センター）からの応援体制を構築するとともに、民間派遣を活用した応援チームによる支援を行う。
- 他県からの保健師応援派遣を受け入れ、疫学調査や自宅待機者・療養者の健康観察業務を実施（5月10日から5月31日まで15名）。
- 兵庫県看護系大学協議会の協力の下、大学教員の支援を得る。

(13) 保健師バンクの機能強化

- 災害時等派遣保健師名簿を作成し、保健師バンクの機能強化を図る。

(14) 海外からの帰国者への対応

- 次の事項を海外からの帰国者に呼びかける。
 - ・指定された場所（自宅など）での14日間の待機
 - ・保健所等による健康観察への協力
 - ・発熱等受診・相談センター（健康福祉事務所・保健所等）への相談
 - ・入国制限がなされている国や地域以外の帰国者から住所地所在の保健所への連絡

(15) 風評被害対策等

- 次の事項を医療や介護など関係者への感謝とともに県民に呼びかける。
 - ・感染症に対する正しい知識や理解を深め、憶測やデマなどに惑わされないようにするとともに、医療関係者、患者関係者などへの風評被害・差別を防止することにより、感染者や濃厚接触者などが保健所の調査に協力できるようにすること
 - ・食料、医薬品、生活必需品の買い占め等を行わないよう、冷静に対応すること

2 学校等

(1) 公立学校

[県立学校]

① 教育活動

【令和3年6月1日～令和3年6月20日】

- 「学校に持ち込まない、学校内に広げない」を基本に、十分な感染防止対策を実施したで行う。
- 県外活動（修学旅行を含む）は行わない。ただし、既に計画済の修学旅行については、旅行先の都道府県が発表する感染状況などを踏まえ、各学校で実施の可否を判断する。
- 校外から大人数を呼び込むような校内行事（オープンハイスクール、学校説明会、授業参観等）は、原則自粛とするが、各学校の実情を踏まえ、各学校で実施の可否を判断する。
- 今後の感染状況によっては、部活動を含め、活動エリア等を検討する。

○感染防止対策

[登下校時・出勤時]

- ・児童生徒の健康観察を徹底し、同居家族に発熱等の症状やPCR検査を受けている場合も登校させない（学校保健安全法第19条の規定に基づく出席停止の措置）。出席停止期間中には、ICTの活用も含めた学習支援に配慮する。
- ・教職員の健康管理を徹底し、同居家族に発熱等の症状がある場合も出勤を見合わせる（特別休暇）。
- ・登下校時（交通機関内を含め）のマスク着用とマスクをはずしての会話を行わないことを徹底する。
- ・校内の感染状況に応じ、分散登校や時差登校を検討する。

[教育活動時]

- ・感染リスクの高いとされている活動は、換気、身体的距離の確保や手洗いなどを徹底する。
- ・各教室での可能な限りの間隔を確保する。
- ・マスクの着用を徹底する。必要に応じてフェイスシールドを着用する。

- ・毎日の検温と手洗いを徹底する。
- ・教室、職員室、教科準備室、更衣室等は、適切な温度管理等に留意した換気、消毒を実施する。
- ・食事をする場所は、飛沫を飛ばさない席の配置や飛沫対策パーティションを設置する。食事中はマスクをはずしての会話は行わない。
- ・児童生徒・教職員に対し、不要不急の外出自粛を呼びかける。 等

[その他]

- ・学習塾など習い事は、事業者が実施している感染防止対策を遵守する。
- ・学習塾など習い事は、本人に加え、家族に発熱等の風邪症状がある場合やPCR検査受診者がいる場合は参加しない。
- ・学習塾など習い事への行き帰りには、マスクの着用を徹底する。
- ・コンビニでの飲食、会話などは避け、速やかに帰宅する。

② 部活動

【令和3年6月1日～令和3年6月20日】

- 平日（4日）は、十分な感染防止対策を実施したうえで、校内（活動拠点が無い場合は当該施設含む）のみ活動を実施する。なお、練習試合、合宿等、宿泊を伴う活動は実施しない。活動時間は2時間以内とする。
- 土日は、原則休止とする。ただし、高体連・中体連スケジュール記載大会、日本高野連・中央競技団体・文化関係連盟等が主催する大会（その予選を含む）及び国民体育大会（その予選を含む）への参加は可とする。
また、大会等参加に伴う練習を行う場合は、大会初日の3週間前からとする。その際、感染防止対策（教育活動における感染防止対策を含む）を徹底のうえ、以下のとおりとする。
 - ・活動場所は、校内（活動拠点が無い場合は当該施設含む）のみの活動とする。
 - ・活動時間は、土日のいずれか1日で3時間以内とする。
 - ・公式大会に合同で参加する場合、または、公式大会に向けて自校単独では練習試合ができない場合のみ、他校と合同による練習を可とする。
 - ・合宿等、宿泊を伴う活動は実施しない。ただし、公式試合出場に際し、遠距離等の理由から宿泊が必要な場合は可とする。
- ※高体連、中体連、高文連及び高野連等に対して、公式大会において事前の健康管理や、試合時以外のマスク着用の徹底、観戦場所の密を避けるなど感染防止対策を参加校に遵守するよう強力に指導することを要請する。

③心のケア

- きめ細やかな健康観察をはじめ、児童生徒の状況を把握し、心身の健康に適切に対応する。
 - ・児童生徒の状況把握(個人面談等の機会の拡充等)
 - ・児童生徒の心のケアアンケート調査の実施
調査時期：5月、11月
対 象：各市町（神戸市含む）小学校1校（6年生）、中学校1校（3年生）
 - ・SNS悩み相談の拡充（令和3年6月20日まで）（17:00～21:00 → 16:00～22:00）
 - ・キャンパスカウンセラー及び各種相談窓口の活用促進
 - ・通級指導対象生徒や外国人生徒等への個別支援
 - ・経済的困窮に配慮し、女性用品を県立学校に配備

[市町立学校・園（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園・幼稚園型認定こども園）]

○設置者に対し、感染状況を踏まえ適切な学校運営を依頼する。また、1人1台端末の持ち帰りなど、児童生徒の家庭学習支援を呼びかける。

[感染時における対応]

- 感染者、濃厚接触者及び体調不良者（以下、感染者等）が発生した場合、保健所の指示に従って、感染者等の出席停止（教職員は特別休暇）及び消毒等の対応を行う。なお、学級に複数の感染者等が発生した場合は学級単位、この状況が複数の学級で生じた場合は、学年・学校単位での臨時休業の実施を検討する。
- 広域的な感染防止対応が必要となった場合の地域における臨時休業については、国の動向、県全体の感染防止対応とともに学習機会の確保など総合的に判断したうえ、県立学校は基本的に学区単位、市町立学校は市町単位又は県民局・県民センター単位でのエリアで実施の可否を検討する。

(2) 県内大学

[感染防止対策強化の要請]

①授業形態

○オンライン授業を積極的に活用する。

※対面授業の実施の際の感染防止対策の強化

- ・キャンパス・校舎内や通学時等のマスク着用の徹底、時差通学の推進

②部活動・サークル活動

○部活動・サークル活動は、実施しない。

○ただし、下記※の大会への参加及び当該大会への参加に向けて、大学等が必要と判断し、活動を行う場合には、以下を遵守する。

- ・合宿等、宿泊を伴う活動は実施しない
- ・更衣室・部室でのミーティング時、試合等における部員の応援時にはマスクを着用
- ・近距離で飛沫が飛ぶ接触は避ける

※中央競技団体・文化関係連盟が主催する大会（その予選を含む）及び国民体育大会（その予選を含む）（参加する際は、主催者の行う感染予防措置を確認するとともに、その徹底を図ること）

③外出・飲食

○学生・教職員に対し、以下の点の徹底を図る。

- ・日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛の徹底
- ・感染防止対策を講じていない施設の利用の自粛
- ・飲食店、路上や公園等での飲酒はしない
- ・会話の際は、マスク等により飛沫を防止
- ・学生食堂等では、マスクを外しての会話を控え、食事後は速やかに退出
- ・学生食堂等の学内の飲食施設では、座席配置の工夫、アクリル板の設置等による感染防止対策の徹底

④学生への呼びかけ

○教育活動の場（授業の開始・終了時、学生一人ひとりへのメール送付等）において、知事メッセージや学生向け動画等を配付・送信すること等により、感染防止対策の徹底を学生に強く呼びかける。

[学生への支援]

- 国の修学支援新制度における家計急変時の授業料・入学金減免、給付型奨学金支給を行う（急変後の所得見込により住民税非課税世帯・これに準ずる世帯となる学生が対象）。
- ・兵庫県私費外国人留学生奨学金の給付、アルバイト収入の大幅な減少等により経済的に困窮する私費外国人留学生に対する緊急奨学金の給付（月3万円）（大学、短大、高専、専門学校日本語学科）
- ・県立大学においては、上記に加え、独自の授業料等の減免の拡充（入学金等の対象追加）、家計急変時の授業料等減免（急変後の所得見込により判定（4人世帯の場合は約500万円未満が目安）、授業料の納付猶予・分納等を実施
- ・就職が困難となっている学生や既卒者等を支援するため、大学連携組織（大学コンソーシアムひょうご神戸）を活用した県内大学生の地元就職促進事業を実施

(3) 高専、私立学校（幼小中高・専修学校・各種学校）

- 私立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校に対し、県立学校と同様の感染防止対策の徹底を要請する。
- 高専、専修学校・各種学校に対し、県内大学と同様の感染防止対策の徹底を要請する。
- 私立専門学校の授業料減免支援（減免額の1/3）を行い、学生の経済的負担を軽減する。

(4) 看護師養成施設等

- 看護師等養成所と歯科衛生士養成所に対し、医療機関等での臨地実習を学内演習に代えることにより、同等の知識と技能を修得するために必要な資機材等を支援する。

3 社会教育施設等

【令和3年6月1日～令和3年6月20日】

- 県立施設については、感染防止対策を実施した上で開館する。
- 感染防止対策
 - ・催物の開催制限及び開館時間短縮については、対処方針の「イベントの開催自粛要請」及び「施設の使用制限」の徹底
 - ・事前予約などによる来館者の入場制限の徹底
 - ・発熱、咳などの症状のある者の入場禁止 ・発熱チェック
 - ・マスク装着の徹底、消毒液の設置 ・演者と観客との一定の距離の確保（最低2m）
 - ・密閉・密集・密接状態の回避（休憩時間・回数増、換気など）
 - ・入館者の氏名・連絡先等の把握
 - ・「兵庫県新型コロナ追跡システム」QRコードの掲示と来館者への登録呼びかけ 等

4 社会福祉施設

(1) 高齢者施設、障害者施設等

①職員

- 高齢者、障害者など特に支援が必要な方々の居住や支援に係るすべての関係施設・事業所について、感染経路の遮断（手指消毒、マスク着用、換気の徹底）及び感染防止対策を厳重に徹底した上での事業実施を要請する。
- 各施設団体からも注意喚起を行うとともに、「5つの場面」等を解説した動画を作成の上配布し、職員等に対する研修に活用するとともに、施設の職員等及び施設等と関わりのある従業員に対して不要不急の外出の自粛等の徹底を要請する。
- 感染管理認定看護師等の派遣等による感染症対策研修を実施する。
- 職員の日々の健康管理（体温測定、発熱した場合の出勤停止）を徹底し、施設内での感染等が疑われる事案が発生した場合は、保健所に連絡する。

②利用者

- 面会者からの感染を防ぐため、自宅と施設間でのオンライン面会等を活用し、直接面会については、緊急の場合を除き中止することを要請する。実施する場合も、回数・人数の制限や感染防止対策を厳重に徹底する。
- 原則、利用者の外泊・外出の自粛を要請する。利用者及び家族のQOLを考慮して外泊や外出を実施する場合は、手指消毒やマスク着用等感染防止対策の徹底を要請する。

③施設等への支援

- 退院後の社会福祉施設への円滑な受入を促進するため、退院基準満了証明の交付や受入施設への支援金（1名受入あたり10万円）を支給する。
- 入所者が感染した場合、入院又は宿泊施設での療養を原則とするが、患者の状況や入院調整の状況等によっては、当該施設において療養することもあり得る。このため、やむを得ず施設内療養を行った施設等に対し、医師の配置等、適切な健康管理体制の確保に必要な経費を健康管理支援事業（施設内療養者1人あたり25万円）として支援する。また、感染拡大対策に必要なかかり増し経費をサービス継続支援事業（施設内療養者1人あたり15万円）として支援する。
- 訪問介護等既に利用中のサービスがある場合は、当該サービス提供事業所によるサービス継続等により支援する。新たにサービスが必要となる場合には、市町、介護支援専門員、相談支援専門員、訪問看護・介護事業者等関係者が連携し、必要なサービスを提供する。いずれの場合も、必要となるかかり増し経費に加え、協力金を支給する。
 - ・1日あたり協力金 訪問看護 52,000円 訪問介護 38,000円 等
- 概ね2ヶ月分のマスク、消毒液等の使用量確保を図ったうえで、さらに概ね2ヶ月分の使用量相当を県において保管する。
- 感染者が発生した場合の基本的対応方針を定め、施設内感染を防ぐための仕組みを整備する。また、感染者が発生し、職員が不足する施設向けに、協力施設等からの職員派遣等の仕組みを運用する。
- 感染拡大防止対策に資する衛生用品の確保や外部専門家等による研修等の支援を行う。特に、従来型施設（多床室）を中心に個別訪問による研修・助言を強化する。また、施設等への専門家派遣時の指導内容について、わかりやすく情報発信を行う。

(2) 保育所（幼保連携・保育所型認定こども園を含む）・放課後児童クラブ

- 感染経路の遮断（手指消毒、マスク着用、換気の徹底）及び感染防止対策を厳重に徹底した上で、事業の実施を要請する。
- 団体からも注意喚起を行うとともに、「5つの場面」等を解説した動画を作成の上配布し、職員等に対する研修に活用する。
- 職員の日々の健康管理（体温測定、発熱した場合の出勤停止）を徹底し、施設内での感染等が疑われる事案が発生した場合は、保健所に連絡する。
- 保育所において、感染者が発生し、職員が不足する施設向けに、協力施設からの職員派遣の仕組みを運用する。

5 県立都市公園等

- 県立都市公園等（下記の施設を含む）は、感染防止対策を施した上で開園する。
 - ・公園内への持ち込み飲酒や食事は禁止する。
 - ・公園内の各施設については、施設毎の使用制限を遵守する。
 - 〔 県立公園あわじ花さじき、県立フラワーセンター、但馬牧場公園、三木山森林公園、各ふるさとの森公園、楽農生活センター、六甲山ビジターセンター 〕
- 県管理の河川、ダム、海岸及び港湾について、看板等の設置により、感染リスクが高いとされる行動を自粛するよう要請する。

6 公共交通・高速道路等を利用した移動の抑制

- 交通事業者（鉄道・バス）に対して、緊急事態措置の実施期間における終電の繰上げ等の協力を依頼する。
- 播但連絡道路について、緊急事態措置の実施期間における土日の休日割引は適用せず、基本料金を徴収する。

7 外出自粛等の要請（法第45条第1項等）

(1) 不要不急の外出自粛等

- 日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛や混雑している場所や時間を避けて行動すること、特に緊急事態措置区域 10 都道府県など県境を越えた感染拡大地域への往来自粛を要請する。
- 時短要請時間外に飲食店等にみだりに出入りしないこと（飲食店等への見回り等を実施）、感染対策が徹底されていない飲食店等や酒類又はカラオケ設備を提供している飲食店等の利用を厳に控えることを要請する。
- 酒類を購入し、店舗の店先・路上・公園等における飲酒など、感染リスクが高い行動の自粛を要請する。
- 大人数や長時間におよぶ飲食の自粛、会食等感染リスクの高い施設利用後は一定期間人との接触に注意する等により家庭内においても「人にうつさない行動」をとること、業種別ガイドライン等に基づく感染防止策がなされていないイベント等への参加の自粛を要請する。

(2) 5つの場面の注意等

- 感染リスクが高まるとされる次の「5つの場面」に注意する。
 - ・飲酒を伴う懇親会等
 - ・大人数や長時間におよぶ飲食
 - ・マスクなしでの会話
 - ・狭い空間での共同生活
 - ・休憩室、喫煙所、更衣室等
- 感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」（新しい生活様式）を推進する。
 - ・マスクの着用、手洗い、身体的距離の確保、「3密」（密閉・密集・密接）の回避等
 - ・特に、近距離の会話、移動中の車内でもマスクの着用を徹底すること
- 毎日の検温実施等自身の健康管理に留意し、発熱等症状のある場合には通勤・通学を含め外出を控えるとともに、電話で医師等に相談する。
- こまめな換気や適度な保湿を行う。

(3) 家庭での感染防止対策

- リスクの高い行動の自粛や基本的な感染対策の徹底など「ウイルスを家庭に持ち込まない」行動をする。
- 帰宅後の手洗い、換気の実施、発熱者がいる場合の個室の確保や共有部分の消毒など「ウイルスを家庭内に広げない」行動をする。
- 毎日の検温など家族の健康管理、発熱など症状がある場合のかかりつけ医への相談など「ウイルスを家庭外に広げない」行動をする。

(4) 飲食等

- 業種別ガイドライン等に基づく感染防止策がなされていない、県内外の感染リスクの高い施設（特に接待を伴う飲食店、酒類提供を行う飲食店、カラオケ等）の利用を自粛する。
- 業種別ガイドライン等に基づく感染防止策がなされていない施設における、大人数での会食や飲み会を避ける（若者グループについては、特に注意）。
- リスクの高い施設利用後の自身の体調や行動に注意する。
- 大声での会話、回し飲みを避ける。

- 会食は同居家族を除き、1グループ4人以内とし、長時間の飲食は控える。会話の際は扇子やマスク等により、飛沫を防止すること

(5) 追跡システム・接触確認アプリの利用

- クラスター発生のおそれがある時等に迅速に利用者への注意喚起情報を提供する「兵庫県新型コロナ追跡システム」を利用する。
- 国の新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」を登録する。

8 イベントの開催自粛要請等（法第24条第9項）

【令和3年5月12日～令和3年6月20日】

(1) 催物の開催制限の目安等

- 人数上限5,000人、かつ、収容定員50%以内、収容定員が設定されていない場合は十分な人と人との距離（1m）を確保することを要請する。
- 祭り、花火大会、野外フェスティバル等、参加者が自由に移動でき、かつ、入退場や区域内の適切な行動確保ができない催物については、中止を含めて慎重に検討することを要請する。
- 催物開催に当たっては、業種別ガイドラインの徹底や催物前後の「三つの密」及び飲食を回避するための方策を徹底することとし、その対策が徹底できない場合には、開催について慎重に判断することを要請する。
- 催物の主催者等に対し、参加者等の直行・直帰を確保するために必要な周知・呼びかけ等を徹底することを要請する。

(2) 営業時間短縮等の要請

- 21時までの営業時間短縮を要請する。
- ※オンライン配信の場合は、営業時間短縮は不要

(3) チケット販売の取扱い

- 6月1日以降に販売開始されるものは、上記(1)及び(2)の要請を満たすこと。

(4) 大規模イベント開催に係る事前相談

- 全国的な移動を伴うイベント又は参加者が1,000人を超えるイベントの開催を予定する場合には、必ず開催要件や感染防止対策等について県対策本部事務局との事前相談をするよう要請する。

9 施設の使用制限等（法第45条第2項等）

【令和3年4月25日～令和3年6月20日】

- 県全域への業種別ガイドライン遵守の徹底を要請する。
- 飲食店等への休業要請・時短要請を行う。
 - ・酒類又はカラオケ設備を提供する飲食店等（カラオケ店及び利用者による酒類の持込みを認めている飲食店を含む）への休業要請
 - ・酒類及びカラオケ設備を提供（利用者による酒類の店内持込みを含む）しない飲食店等への時短要請（5時～20時）

〈施設の種類〉

飲食店	飲食店(居酒屋を含む)・喫茶店その他設備を設けて客に飲食をさせる営業が行われている施設(宅配・テイクアウトサービスは除く)
遊興施設	遊興施設(キャバレー、ナイトクラブ、ダンスホール、バー、カラオケボックス等)(*1)のうち、食品衛生法の飲食店営業の許可・喫茶店営業の許可を受けている店舗(*2)

※ 酒類又はカラオケ設備を提供する食品衛生法の飲食店営業許可を受けている結婚式場についても、同様の内容を要請

(*1) ネットカフェ・マンガ喫茶等、夜間の長時間滞在を目的とした利用が相当程度見込まれる施設は対象外。ただし、入場整理の実施や、酒類提供・カラオケ設備使用の不可について協力依頼

(*2) カラオケ店については、食品衛生法の飲食店営業・喫茶店営業の許可を受けていない店舗も要請対象

〈区域〉 全県

〈協力金支給額〉(調整中) 1日当たり4~20万円/店舗×休業・時短営業日数

中小企業 前年度又は前々年度の1日当たり売上高に応じて単価決定

10万円以下の店舗：4万円
10~25万円の店舗：(前年度等の1日当たり売上高)×0.4の額
25万円以上の店舗：10万円

大企業 1日当たりの売上高の減少額×0.4(上限20万円)

*中小企業もこの方式を選択可

※財源：国80%、県20%

○飲食店等へ、感染対策の徹底を要請する。

- ・従業員への検査勧奨
- ・入場者の感染防止のための整理・誘導
- ・発熱等の症状のある者の入場の禁止
- ・手指の消毒設備の設置
- ・事業を行う場所の消毒
- ・入場者に対するマスクの着用その他の感染の防止に関する措置の周知
- ・正当な理由なくマスクの着用等の感染防止措置を講じない者の入場の禁止
- ・施設の換気
- ・アクリル板等の設置又は利用者の適切な距離の確保
- ・CO₂センサー等の設置
- ・業種別ガイドラインの遵守

【令和3年5月12日~令和3年5月31日】

○多数利用施設等(特措法施行令第11条施設)への休業要請・時短要請等を行う。

〔多数利用施設〕

種類・施設例	要請内容
映画館等	【床面積が1,000㎡超】 ・20時までの営業時間短縮を要請 ・県独自対策 ○土日の休業を要請(運動施設(イベント関連の屋内施設)、博物館等を除く) ○19時までの営業時間短縮を協力要請
商業施設*	
運動・遊技施設 [体育館、ボウリング場、スポーツクラブ、パチンコ屋等]	【床面積が1,000㎡以下】 ・20時までの営業時間短縮の協力依頼
遊興施設 [個室ビデオ店、場外馬券売場等]	
博物館等	【共通】 ・イベント開催制限の要件を準用した施設の運用を要請(映画館等、運動施設(イベント関連の屋内施設)、博物館等) ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請
サービス業(生活必需サービスを除く)	

*生活必需物資(食品、医薬品、医療機器その他衛生用品、再生医療等製品、燃料等)の小売り関係を営む店舗を除く。

〔イベント関連施設〕

種類・施設例	要請内容
劇場等 [劇場、観覧場、演芸場等]	【床面積が 1,000 m²超】 ・イベント開催の場合は 21 時までの営業時間短縮を要請（イベント開催以外の場合は 20 時までの営業時間短縮を要請） 【床面積が 1,000 m²以下】 ・イベント開催の場合は 21 時までの営業時間短縮を要請（イベント開催以外の場合は 20 時までの営業時間短縮を協力依頼） 【共通】 ・イベント開催制限の要件を準用した施設の運用を要請 ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請
集会・展示施設 [集会場、公会堂、展示場、貸会議室等]	
ホテル・旅館 (集会の用に供する部分)	
運動施設(屋外施設等) [野球場、ゴルフ場等]	
遊技施設 [テーマパーク、遊園地等]	

※県立社会教育施設は、上記に準じる。

【令和3年6月1日～令和3年6月20日】

○多数利用施設等（特措法施行令第11条施設）への休業要請・時短要請等を行う。

〔多数利用施設〕

種類・施設例	要請内容
商業施設 *	【床面積が 1,000 m²超】 ・20 時までの営業時間短縮を要請 ・県独自対策 ○土日の休業を要請(運動施設(イベント関連の屋内施設)、博物館等を除く) 【床面積が 1,000 m²以下】 ・20 時までの営業時間短縮の協力依頼 【共通】 ・イベント開催制限の要件を準用した施設の運用を要請(運動施設(イベント関連の屋内施設)、博物館等) ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請
運動・遊技施設 [体育館、ボウリング場、スポーツクラブ、パチンコ屋等]	
遊興施設 [個室ビデオ店、場外馬券売場等]	
博物館等	
サービス業(生活必需サービスを除く)	

*生活必需物資（食品、医薬品、医療機器その他衛生用品、再生医療等製品、燃料、化粧品等）の小売り関係を営む店舗を除く。

〔イベント関連施設〕

種類・施設例	要請内容
劇場、映画館等 [劇場、観覧場、演芸場、映画館、プラネタリウム等]	【床面積が 1,000 m²超】 ・イベント開催の場合は 21 時までの営業時間短縮を要請（イベント開催以外の場合は 20 時までの営業時間短縮を要請） ＊映画上映の場合は 21 時までの営業時間短縮を要請 【床面積が 1,000 m²以下】 ・イベント開催の場合は 21 時までの営業時間短縮を要請（イベント開催以外の場合は 20 時までの営業時間短縮を協力依頼） ＊映画上映の場合は 21 時までの営業時間短縮を協力依頼 【共通】 ・イベント開催制限の要件を準用した施設の運用を要請 ・入場整理の実施、酒類提供及びカラオケ設備使用の不可を要請
集会・展示施設 [集会場、公会堂、展示場、貸会議室等]	
ホテル・旅館 (集会の用に供する部分)	
運動施設(屋外施設等) [野球場、ゴルフ場等]	
遊技施設 [テーマパーク、遊園地等]	

※県立社会教育施設は、上記に準じる。

・協力金支給額

【財源】国要請分（20 時までの時短）：国 80%、県 20%

県独自要請（上乘せ分）（土日休業）：国 60%、県 40%

区分	大規模施設	テナント事業者・出店者
支給金額 (調整中)	【休業分】 支給額/日=A+B+C A：自己利用部分(*1)の休業面積（1,000 m ² を1単位）(*2)×20万円/日 B：テナント店舗及び特定百貨店店舗等(*3)の数×2千円/日 <u>（10以上の店舗がある場合）</u> C：特定百貨店店舗の数×2万円/日	【休業分】 支給額/日=休業面積(100 m ² を1単位)(*2)×2万円/日
	【時短分】 国の基準に基づく協力金(上記に基づき算出した額に「本来の営業終了時間—20時/本来の営業時間」を乗じた額)を支給	

(*1)「自己利用部分」

大規模施設運営事業者自らが一般消費者向け事業の用に直接供している部分（(*3)の「特定百貨店店舗」に係る部分を除く）

(*2)「休業面積」

①大規模施設

要請に応じて休業又は時短営業を行っている部分の面積で、テナント事業者等、生活必需品の販売事業の区画面積を除く

・単位未満は切り捨てとし、1,000 m²以下の場合は1,000 m²とする

②テナント事業者、出店者

大規模施設内の事業者等の専用の店舗等に係る休業面積

・単位未満は切り捨てとし、100 m²以下の場合は100 m²とする

(*3)「特定百貨店店舗」

百貨店等において当該店舗の売上が当該百貨店等に一旦、計上され、その後分配される場合で、百貨店等から一定の区画の分配を受け、当該店舗の運営者の名義で出店し、事業を営んでいる店舗

10 事業者への感染防止対策等の要請等（法第24条第9項）

- 業種別ガイドラインに基づく感染防止策の徹底を促すとともに、関係団体を通じて協力を要請する。特に、接待を伴う飲食店及びその他の酒類の提供を行う飲食店等に対し、保健所による食品衛生法上の指導にあわせた感染防止策の周知徹底を行う。
- 飲食店に対し、発熱、せき、味覚障害など、少しでも症状がある従業員がいる場合の自宅待機及び検査受診を要請する。
- Go To Eat 参加飲食店においては、パーティション、アクリル板、テーブル等を利用し、利用客が家族や介助者等を除き「4人以下の単位」とする。あわせて、Go To Eat に参加しない飲食店に対しても、同様の協力を要請する。
- 医療機関に対し、医療従事者、患者等への感染防止対策の徹底を要請する。
- 社会福祉施設に対し、職員、通所者等への感染防止対策の徹底を要請する。
- 大学等に対し、教職員、学生等への感染防止対策の徹底を要請する。
- 「感染拡大防止宣言ポスター」の掲示を要請する。

- 「兵庫県新型コロナ追跡システム」への登録と、可能な限り QR コードのテーブルやカウンターなどでの掲示を要請する。
- 店舗・施設利用者へ「COCOA」の登録を要請する。
- 次の事項を事業者・関係団体に要請する。
 - ・感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」（新しい生活様式）の推進
 - ・「出勤者数の7割削減」を目指し、在宅勤務（テレワーク）、テレビ会議等を推進
 - ※県民が無料で利用できる「県民テレワークルーム」を本庁舎等に5カ所で開設中（期間：令和3年1月19日～、場所：本庁舎別館、新長田合同庁舎、尼崎・姫路・柏原総合庁舎）
 - ・出勤者数7割削減の実施状況の公表
 - ・接触機会低減等の取組を推進
 - ✓ ローテーション勤務・時差出勤等
 - ✓ 職場や寮における「3密」（密閉・密集・密接）の回避
 - ✓ 職場内の換気の励行、検温及びマスク着用の徹底
 - ✓ 発熱等の風邪症状が見られる従業員への出勤免除

11 事業活動への支援等

(1) 企業等の事業継続支援

① 中小企業融資制度による資金繰り支援

- ・融資目標額8千億円
- ・6つの資金による支援

資金区分	限度額	概要
新型コロナウイルス感染症対応資金（無利子・無保証料） （R2.5.1～R3.5.31）	6,000万円	当初3年間無利子、保証料軽減 限度額引上げ R2.6.22～ 3,000万円→4,000万円 R3.1.25～ 4,000万円→6,000万円
家賃等つなぎ融資枠	法人：600万円 個人事業主：300万円	
新型コロナウイルス感染症保証料応援資金 （R2.6.22～R3.5.31）	5,000万円	無利子資金を超える資金需要に対応 保証料0.8%を県が全額補助、利率0.7%
経営活性化資金 （R2.3.16～R3.9.30）	5,000万円	迅速な融資・保証審査
借換等貸付 （R2.3.16～R3.9.30）	2億8,000万円	既往債務の返済負担を軽減、利率0.7%
危機対応貸付 （R2.3.16～R3.6.30）	2億8,000万円	危機関連保証を活用、利率0.7%
新型コロナウイルス対策貸付 （R2.2.25～当面の間実施）	2億8,000万円	セーフティネット保証を活用、利率0.7%

※実施期間の終期については、当面の予定

- ・信用保証における、事業者からの提出書類の簡素化、保証審査部門の体制強化などによる審査期間の短縮など弾力的な運用、積極的な承諾
- ・セーフティネット保証5号対象外業種（ぱちんこ屋等）について保証対象へ追加
- ・日本政策金融公庫等による資金繰り支援及び特別利子補給制度の活用
- ・金融機関に対し、既往債務に係る条件変更等の弾力的な運用等の配慮を要請

②事業の継続を支える支援措置

ア 緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金・月次支援金の活用（国制度）

対象：緊急事態宣言に伴う飲食店時短営業または不要不急の外出・移動自粛により
売上が50%以上減少した事業者

一時支援金（1～2月の緊急事態宣言の影響分）：法人60万円、個人30万円（上限）

月次支援金（4月以降の緊急事態宣言の影響分）：法人20万円/月、個人10万円/月（上限）

イ 酒類販売事業者に対する月次支援金の支給

緊急事態措置に伴い影響を受ける飲食店と直接取引のある酒類販売事業者に対して国の月次支援金の対象要件を緩和して支援

支給金額 個人10万円/月、法人20万円/月（国制度と同額）

ウ キャンセル料支援の活用（国制度）

対象：緊急事態宣言発令地域等において開催予定であった公演等を延期・中止したにもかかわらず発生した費用

金額：2,500万円（上限）、補助率10/10

エ 雇用調整助成金の活用（国制度）

・以下の企業は6月末まで現行特例措置を延長

a) 緊急事態宣言実施区域の要請等に協力する飲食店等

b) まん延防止等重点措置対象地域の要請等に協力する飲食店等

c) 特に業況が悪い事業主（売上が30%以上減少）

（現行特例措置）

・助成率引上：大企業1/2→2/3、中小2/3→4/5（解雇等を行っていない場合は大企業3/4、中小10/10）

・助成上限額引上：一人あたり8,330円/日→15,000円/日

・雇用保険被保険者でない労働者の休業も助成の対象

※上記a)、b) c)以外の企業は、5～6月は特例を縮減

（助成上限額15,000円/日→13,500円/日、中小助成率上限10/10→9/10）

・兵庫労働局助成金デスクによる相談

オ 産業雇用安定助成金の活用（国制度）

在籍型出向により雇用を維持する場合、出向元と出向先の双方の事業主に対し助成

a) 助成率：大企業3/4、中小9/10

b) 助成上限額：12,000円/日（出向元・出向先の計）

カ 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金の活用（国制度）

・休業中に賃金の支払いを受けることができなかった中小企業の労働者からの申請により、休業開始前賃金の80%（日額上限9,900円（緊急事態宣言実施区域、まん延防止等重点措置対象地域の要請等に協力する飲食店等は日額上限11,000円）を休業実績に応じて支給

・大企業に雇用されるシフト制等の非正規労働者も対象に追加

キ 小学校休業等対応助成金の活用（国制度）

・対象：小学校等の臨時休業等により仕事を休まざるを得なくなった保護者に対し、有給休暇を取得させた事業主

・金額：50,000円/人 ※10人まで（上限50万）

ク 中小企業のための特別相談窓口の設置

・ひょうご・神戸経営相談センター、県地域金融室、県信用保証協会、各金融機関

③ポストコロナを見据えた事業展開への支援

ア 収束後における地域経済の活性化

・がんばるお店・お宿応援事業：5～10万円/1店舗（定額）、13,500件

飲食店や宿泊施設によるテイクアウト・デリバリーへの参入、感染防止対策等を支援

・中小企業の新事業展開への支援

コロナ禍の環境変化に応じたビジネスモデルの再構築や新たな事業展開に取り組む県内中小企業の取組を支援

事業費	補助金額
50万円以上 70万円未満	35万円
70万円以上 100万円未満	50万円
100万円以上 150万円未満	75万円

- ・商店街お買い物券・ポイントシール事業（事業規模 15 億円：県 2/3、市町 1/3）
商店街等が取り組むプレミアム付商品券の発行、ポイントシール事業を支援

イ 新たなワークスタイルの推進（ひょうご仕事と生活センター）

- ・テレワーク等を推進するため、設備導入を支援するとともにアドバイザーを設置

④生産拠点の県内回帰、サプライチェーンの強化・再構築

○産業立地条例に基づく補助金等を拡充する。

区分	拡充前（～R2. 6. 17）	拡充後（R2. 6. 18～）	
		県内全域で幅広い立地促進	サプライチェーン強化・再構築検討
税 軽 減	不動産 取得税 1/2 軽減 (拠点地区・促進地域)	同左	【一般地域】 1/2 軽減 【促進地域】 3/4 軽減
	法人 事業税 【一般地域】 1/4 軽減・5年間 (拠点地区 1/3 軽減・5年間) 【促進地域】 1/2 軽減・5年間	【一般地域】 1/3 軽減・5年間 (拠点地区 1/2 軽減・5年間) 【促進地域】 同左	【一般地域】 1/2 軽減・5年間 【促進地域】 3/4 軽減・5年間
補 助 金	設 備 投 助 【一般地域】 設備投資額の 3 % ※国等補助金併用不可 【促進地域】 設備投資額の 5 % ※国等補助金併用不可	同左	【一般地域】 設備投資額の 6 % ※国等補助金併用可 【促進地域】 設備投資額の 10 % ※国等補助金併用可
	雇 用 助 【一般地域】 新規正規雇用 : 30 万円/人 【促進地域】 新規正規雇用 : 60 万円/人 新規非正規雇用 : 30 万円/人	同左	【一般地域】 新規正規雇用 : 45 万円/人 【促進地域】 新規正規雇用 : 90 万円/人 新規非正規雇用 : 同左

⑤雇用対策の強化

ア 緊急対応型雇用創出事業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた労働者等に対し、次の雇用までのつなぎの雇用を創出（実施規模：1,200人）

イ 離職者等再就職訓練事業

- ・離職者等の就職促進のため、介護や IT・資格取得等ニーズの高い分野の職業訓練を実施（拡充規模：800人（実施規模：219コース 4,150人））

(2) 観光振興

○宿泊業者による前向きな事業継続への支援

宿泊事業者が感染拡大防止策の強化等に取り組む費用を支援する。

補助対象限度額：10,000千円

補助率：大規模施設（100室以上）3/5、中規模施設（31～99室）2/3、小規模施設（1～30室）3/4

※令和2年5月14日から令和3年6月8日までに要した経費は補助率1/2

○Welcome to Hyogo キャンペーンの展開

旅行市場の回復段階に応じ需要を喚起するキャンペーンを展開（令和2年6月19日～）

- ・バス旅行の支援

区 分	事業内容
ひょうごツアーリズムバス	1台あたり宿泊3万円 日帰り1.5万円

※4月25日以降の新規予約分について、緊急事態宣言措置解除まで停止

(3) Go To トラベルキャンペーン

- 全国において、事業の適用を一時停止する。

(4) Go To Eat キャンペーン

- プレミアム付食事券の申込受付・販売(引換)等について、Go To トラベルの停止終了日まで停止する。
- 令和3年1月14日から販売済みのプレミアム付食事券及び付与済みポイントについて県下全域での利用の自粛を呼びかける（有効期限3/31→6/30に延長）。

(5) Go To 商店街事業

- 全国において、集客を伴う商店街イベントを延期又は中止する。

(6) 生活基盤の確保

①生活福祉資金特例貸付の拡充

- 特例貸付として、貸付の対象世帯を低所得者だけでなく、新型コロナウイルスの影響を受け収入の減少があった世帯に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を実施

②住居確保給付金の支給

- 休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれがある者に対し、家賃相当の住居確保給付金を支給

③ひとり親世帯生活支援特別給付金等の支給

- 長引くコロナ禍の影響により、負担が大きくなっているひとり親世帯等に対し、生活支援特別給付金を支給

④高等職業訓練促進給付金の支給

- ひとり親の資格取得を促進し、就職を支援するため、養成訓練等の受講期間において高等職業訓練促進給付金を支給

⑤ひとり親家庭住宅支援資金貸付の実施

- ひとり親に対する生活基盤の安定を図り、自立に向けた取組を促進するため、入居している住宅家賃に対する資金を無利子で貸付

(7) 税制上の特例措置等

- 県税を一括納付できない方で、要件を満たす場合は納税を猶予
- 県民税の寄附金税額控除の特例（行事の中止等による入場料金払戻請求権の放棄に適用）
- 住宅ローン控除（住民税）の特例の拡充（面積要件の緩和、適用期限の1年延長）
- 自動車税環境性能割の税率の臨時的軽減（1%軽減）の延長（令和3年末まで）

- 耐震基準不適合既存住宅の耐震改修特例（不動産取得税）の適用要件の弾力化（入居要件の緩和）
- 自動車税種別割の障害者減免（新規分）申請期限の延長（令和3年6月30日まで）
- 法人関係税等の電子申告・電子納税等を推進
- 自動車税種別割等のインターネットを利用したクレジットカードやスマホアプリ等による納税を推進

(8) 農林水産事業者への支援

①資金繰り支援

- 美しい村づくり資金、豊かな海づくり資金の拡充（当初3年間無利子化、貸付期間延長、融資限度額引上げ）

②需要喚起・販売促進

- 県産酒米消費拡大キャンペーン事業（県産酒米100%を原料にした日本酒2.5千円の購入毎に、直売所で使える5百円の金券を配布）
- 県産ブランド牛肉消費促進事業（県産ブランド牛肉1万円の購入者に、抽選で5千円のビーフ券を進呈）
- 県産水産物消費促進事業（県産生鮮水産物2千円の購入者に、抽選で1千円相当の水産物加工品等を進呈）
- ひょうごの酒欧州オンライン商談会（酒蔵向け輸出促進セミナー（3回）、現地バイヤーとのオンライン商談会等を実施）
- 「御食国ひょうご」を活用した県産食材PR事業（兵庫の美味しいものまとめサイト「御食国ひょうご」のWeb広告を展開し、食に関心の高い消費者をターゲットに県産食材をPR）

(9) 公共交通事業者への支援

①地域公共交通新型コロナウイルス対応型運行の支援

新型コロナウイルス感染症対策として、車内等の密度を上げないように便数等に配慮した運行に取り組む地域公共交通事業者に対して、国の実証運行支援期間終了後、引き続き支援

【補助対象】・地域鉄道事業者（神戸電鉄、北条鉄道、智頭急行）

・路線バス事業者（19事業者）

※公営バス、コミュニティバス、貸切（観光）バス、県外高速バスを除く

・航路事業者（6事業者）※生活航路のみ

【対象経費】車内等の密度に配慮した運行に要する経費（燃料費、人件費等）

※輸送人員減による減便を回避するための輸送力の維持・増便に要する経費相当

【負担割合】県1/4、市町1/4（任意随伴）、事業者1/2

【補助期間】1ヶ月間 ※国実施期間後を支援

②タクシー事業者感染防止対策の支援

タクシー事業者における一層の感染拡大防止対策を図るため、国庫補助事業と協調した支援を実施

【補助対象】県内タクシー事業者

【対象経費】高性能な空気清浄機導入等の感染症対策に要する経費

【負担割合】国1/2、県1/4、事業者1/4

12 県としての対応等

(1) 県庁舎・県職員の感染防止対策等

- 職員の在宅勤務の活用による出勤者の原則7割削減を目指す。
- 職員の感染防止対策を行う。
 - ・時差出勤・フレックス制・特別休暇の活用の推進
 - ・サテライトオフィスの活用 ・テレビ会議システムの活用
 - ・マスク着用、人と人との間の十分な距離の確保、換気の徹底等
 - ・出勤時の自宅での検温の徹底、庁舎入口におけるサーモグラフィによる検温の実施
 - ・窓口業務等は職場環境に応じ、密閉、密集、密接とならないような方法により実施
- 市町職員の在宅勤務等の活用による出勤者7割削減を要請する。

(2) 予算の早期実施

- 国の補正予算等を活用して編成した県の補正予算と令和3年度当初予算の速やかな実施を図る。

(3) 組織体制の整備

- 「次なる波」の到来等に備え、組織体制を強化する（令和2年7月1日付）。
 - ・健康福祉部に新たに「感染症等対策室（室長：本庁局長級）」を設置し、同室に「感染症対策課」を置き、感染症対策を統括する機能を強化
 - ・感染症対策課に医務課・薬務課・社会福祉課・健康増進課・病院局企画課・復興支援課（R3.4～防災支援課）で実施している新型コロナウイルス感染症対策業務を一元化し、それぞれの課長が感染症対策課参事を兼務
- 新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施に向け、組織体制を強化する。
 - ・健康福祉部感染症等対策室に新たに「ワクチン対策課」を設置し、同課に「参事（ワクチン対策担当）」を設置（令和3年1月25日付）
 - ・大規模接種会場の設置・運営を実施するため、健康福祉部感染症等対策室に新たに「参事（大規模接種担当）」を設置し、ワクチン対策課に新たに「参事（大規模接種企画担当）」、「参事（大規模接種推進担当）」を設置（令和3年5月17日付）

(4) 自殺対策

- 新型コロナウイルス感染症の影響で生活の悩みや不安を感じる県民に対し、「こころの健康相談統一ダイヤル（☎0570-064-556）」など、相談窓口の啓発を図る。
 - ・相談窓口一覧 URL <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf09/soudanmadoguti.html>

(5) 女性に対する支援

- 男女共同参画センターにおいて、女性のための悩みや就労の相談を実施する（「女性のための悩み相談」☎078-360-8551）。
- コロナ禍で様々な不安や困難を抱える女性の相談に幅広く対応するため、NPO等民間団体と連携し、Web等を活用した相談支援事業や居場所づくり等を行う。

【注意】令和3年度6月補正予算（緊急経済対策）に係る事業（5/25発表済み）については、現時点では案である。

- 令和3年度6月補正予算（緊急経済対策）（案）

http://web.pref.hyogo.lg.jp/governor/documents/g_kaiken20210525.pdf

[改定年月日]

(令和2年 4月13日改定)
(令和2年 4月28日改定)
(令和2年 5月21日改定)
(令和2年 7月 9日改定)
(令和2年 7月29日改定)
(令和2年 9月17日改定)
(令和2年11月11日改定)
(令和2年12月10日改定)
(令和3年 1月12日改定)
(令和3年 2月22日改定)
(令和3年 3月29日改定)
(令和3年 4月15日改定)
(令和3年 4月28日改定)
(令和3年 5月13日改定)

(令和2年 4月17日改定)
(令和2年 5月 4日改定)
(令和2年 5月26日改定)
(令和2年 7月17日改定)
(令和2年 8月 1日改定)
(令和2年10月14日改定)
(令和2年11月18日改定)
(令和2年12月24日改定)
(令和3年 1月22日改定)
(令和3年 3月 4日改定)
(令和3年 4月 2日改定)
(令和3年 4月21日改定)
(令和3年 5月 7日改定)

(令和2年 4月24日改定)
(令和2年 5月15日改定)
(令和2年 6月18日改定)
(令和2年 7月23日改定)
(令和2年 8月28日改定)
(令和2年11月 5日改定)
(令和2年11月24日改定)
(令和3年 1月 8日改定)
(令和3年 2月 3日改定)
(令和3年 3月18日改定)
(令和3年 4月 9日改定)
(令和3年 4月23日改定)
(令和3年 5月12日改定)